

# 津市家庭医療クリニック設置に伴う 津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事

## 設 計 図

図 面 リ ス ト					
建 築 工 事		電 気 設 備 工 事		機 械 設 備 工 事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築 特記仕様書 1	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	機械設備 特記仕様書
A-02	建築 特記仕様書 2	E-02	高圧単線結線図	M-02	改修前 給排水衛生設備平面図
A-03	建築 特記仕様書 3	E-03	幹線設備図	M-03	改修後 給排水衛生設備平面図
A-04	建築 特記仕様書 4	E-04	改修前後 電灯コンセント設備図	M-04	改修前 空調換気設備平面図
A-05	付近見取図・配置図	E-05	改修前後 誘導灯・非常灯設備図	M-05	改修後 空調換気設備平面図
A-06	改修前後 1階 平面図	E-06	改修前後 弱電設備図		
A-07	改修前 仕上表 平面詳細図 天井伏図	E-07	改修前後 自動火災報知設備図		
A-08	改修後 仕上表 平面詳細図 天井伏図				
A-09	改修前 展開図				
A-10	改修後 展開図				
A-11	改修前後 建具表 雑詳細図 1				
A-12	改修前後 建具表 雑詳細図 2				

藤川設計株式会社

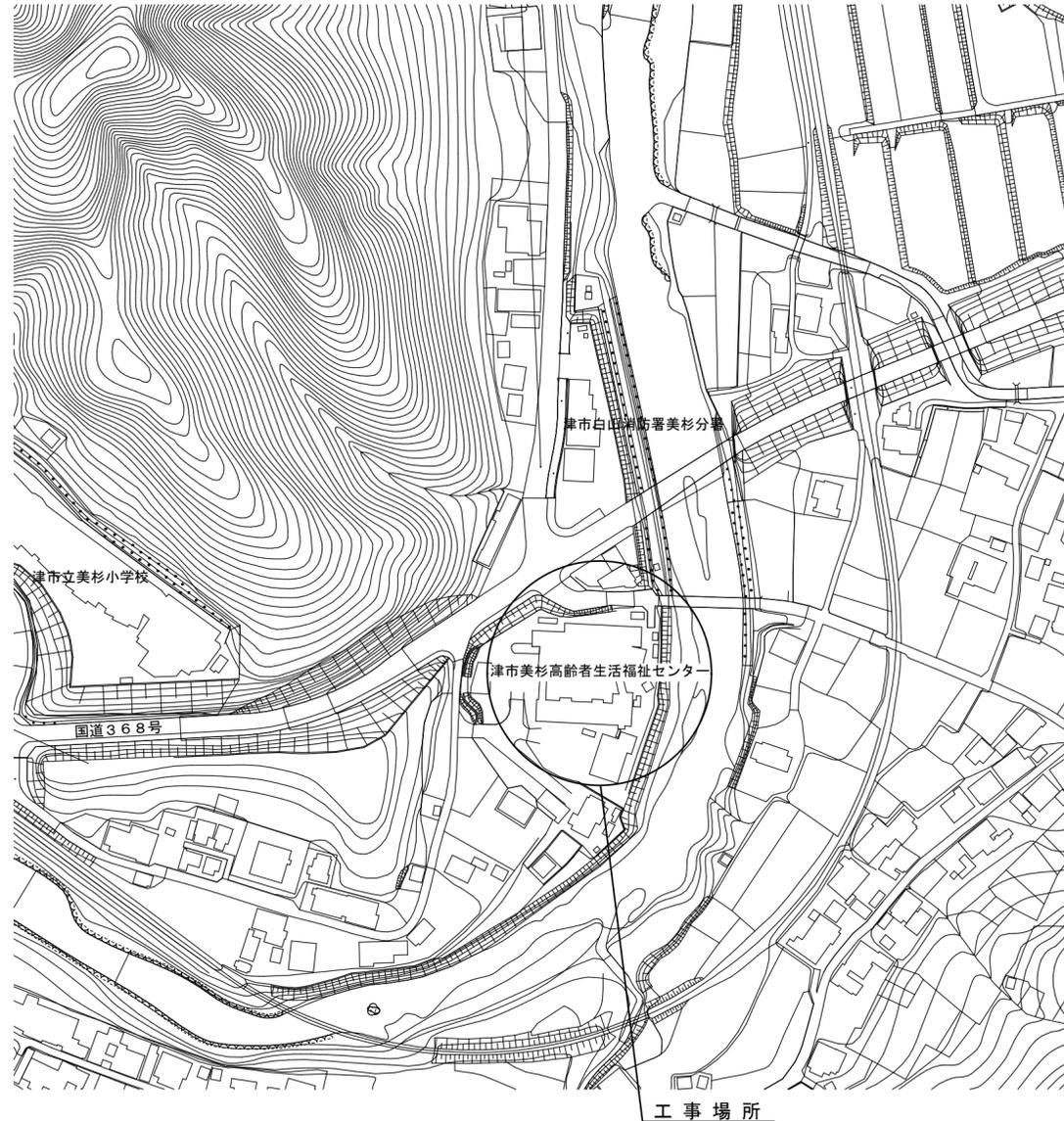
工事特記仕様書(改修)		章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																
<b>I. 工事名称</b> 津市家庭医療クリニック設置に伴う 津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事  <b>II. 工事概要</b> 1 工事場所 津市 美杉町奥津 地内 2 敷地面積 6,518 m <sup>2</sup> 3 工事内容 診療所改修 棟名称 津市美杉高齢者生活福祉センター  <b>III. 建築改修工事仕様</b> 1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(以下「改標仕」という。)による。 2 特記仕様 (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。 使用材料等で複数の材料に○印が付いたものは図面による。 (3)項目欄に記載の( ) 内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。		<b>5</b> 発生材の処理等 (1.3.8)  <b>6</b> 三重県産業廃棄物税  7 電気保安技術者 (1.3.3)  8 技能士 (1.6.2)  9 施工数量調査 (1.5.2)  10 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)  <b>11</b> 化学物質の濃度測定 (1.6.9)  <b>12</b> 特別な材料の工法  <b>13</b> 騒音・振動の防止	<b>14</b> 工事写真  <b>15</b> 完成図 (1.8.2)  <b>16</b> 完成写真  <b>17</b> 設備工事との取合い  <b>18</b> 既存部分への処置 (1.3.12)  <b>19</b> 事故報告  <b>20</b> 仮設工事 ① 足場 (2.2.1)(表2.2.1) ② 材料、撤去材等の運搬 (表2.2.2) 3 既存ブラインド・カーテンの養生 (2.3.1) 4 仮設間仕切り (2.3.2)(表2.3.1) 5 監督員事務所 (2.4.1)	※ 工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙は上質紙とする。  ※ 作成する(※ 完成図(A2:2部) ・ 保全に関する資料) ※ 完成図作成範囲(設計図を修正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。  ※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。 ・ アルバム1部 (大きさ335mm×290mm程度、カラー)  施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ※ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ  施工図 ※ 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。  工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならぬ補修する。  工事中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。	<b>6</b> 監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b)  <b>7</b> 仮設便所  <b>8</b> 工事用水  <b>9</b> 工事用電力  <b>10</b> 交通誘導員  <b>3</b> 防水改修工事 1 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.3)(表3.3.3~表3.3.10)  2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3)(表3.4.1~表3.4.3)  3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3)(表3.5.1)(3.5.2)(b)(3.5.3)  4 塗膜防水 (3.6.3)(表3.6.1)(3.6.3)(a)(3.6.3)(b)  5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2)(3.2.6)(c)(6)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr> <tr><th>数量</th><td>1組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><th>種類</th><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類カク</td></tr> <tr><th>数量</th><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr> <tr><th>種類</th><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>請負者加入電話・FAX</td><td>冷暖房器</td><td>インターネット</td></tr> <tr><th>数量</th><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr> </table> <p>構内既存の施設            ・ 利用できる(※ 有償 ○ 無償) ※ 利用できない            ※ 工事終了後、清掃を行うこと。            構内既存の施設            ・ 利用できる(※ 有償 ○ 無償) ※ 利用できない            ※ 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電したときから工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。            配置 ※ 図示</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ PIB</td><td>・ B-1 ※ B-2</td><td></td></tr> <tr><td>・ P1E</td><td>・ E-1 ※ E-2</td><td></td></tr> <tr><td>・ P2E</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>断熱層工法の断熱材(PIB、P2A及びT1E工法)            材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種b(スギン層付)            厚さ            脱気装置( M6D、P0D、P0I、M6I、M6D )            ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない            保護層 ・ 設ける ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ MIAS</td><td>・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3</td><td></td></tr> </table> <p>脱気装置            ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ S3S</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ S3S</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ M4 S</td><td>・ S-M2 ・ S-F2</td><td></td></tr> </table> <p>絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート            脱気装置: 製造所の指定による            ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ FOX</td><td>・ X-1</td><td>1、2階屋上</td></tr> <tr><td>・ L4X</td><td>・ X-2</td><td></td></tr> </table> <p>脱気装置            ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・ PIY</td><td>・ Y-2</td><td></td></tr> <tr><td>・ PZY</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>保護層 ※ 図示            ・ 自閉樹脂塗膜防水・・・施工箇所: 便所床、ピット内外            ・ 超速硬化ウレタン塗膜防水・・・施工箇所: 庇上面            (MIAS、MIAS1、M6I、M6D) ・ 行う ・ 行わない            (L4X) ・ 行う ・ 行わない</p>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	1組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類カク	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット	数量	個	個	台	台	台	工法	種別	施工箇所	・ PIB	・ B-1 ※ B-2		・ P1E	・ E-1 ※ E-2		・ P2E			工法	種別	施工箇所	・ MIAS	・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3		工法	種別	施工箇所	・ S3S			・ S3S			・ M4 S	・ S-M2 ・ S-F2		工法	種別	施工箇所	・ FOX	・ X-1	1、2階屋上	・ L4X	・ X-2		工法	種別	施工箇所	・ PIY	・ Y-2		・ PZY		
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																																					
数量	1組	台	個	個	個																																																																																					
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類カク																																																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																																																					
種類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	冷暖房器	インターネット																																																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																																																					
工法	種別	施工箇所																																																																																								
・ PIB	・ B-1 ※ B-2																																																																																									
・ P1E	・ E-1 ※ E-2																																																																																									
・ P2E																																																																																										
工法	種別	施工箇所																																																																																								
・ MIAS	・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3																																																																																									
工法	種別	施工箇所																																																																																								
・ S3S																																																																																										
・ S3S																																																																																										
・ M4 S	・ S-M2 ・ S-F2																																																																																									
工法	種別	施工箇所																																																																																								
・ FOX	・ X-1	1、2階屋上																																																																																								
・ L4X	・ X-2																																																																																									
工法	種別	施工箇所																																																																																								
・ PIY	・ Y-2																																																																																									
・ PZY																																																																																										
TITLE 津市家庭医療クリニック設置に伴う 津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事		DRAWING TITLE 建築 特記仕様書 1		SCALE _____	一級建築士事務所 三重県登録第1-739号 <b>藤川設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第222551号 田中 富士夫	設計者 一級建築士 第222551号 田中富士夫	No. A-01																																																																																			

原因: A 2

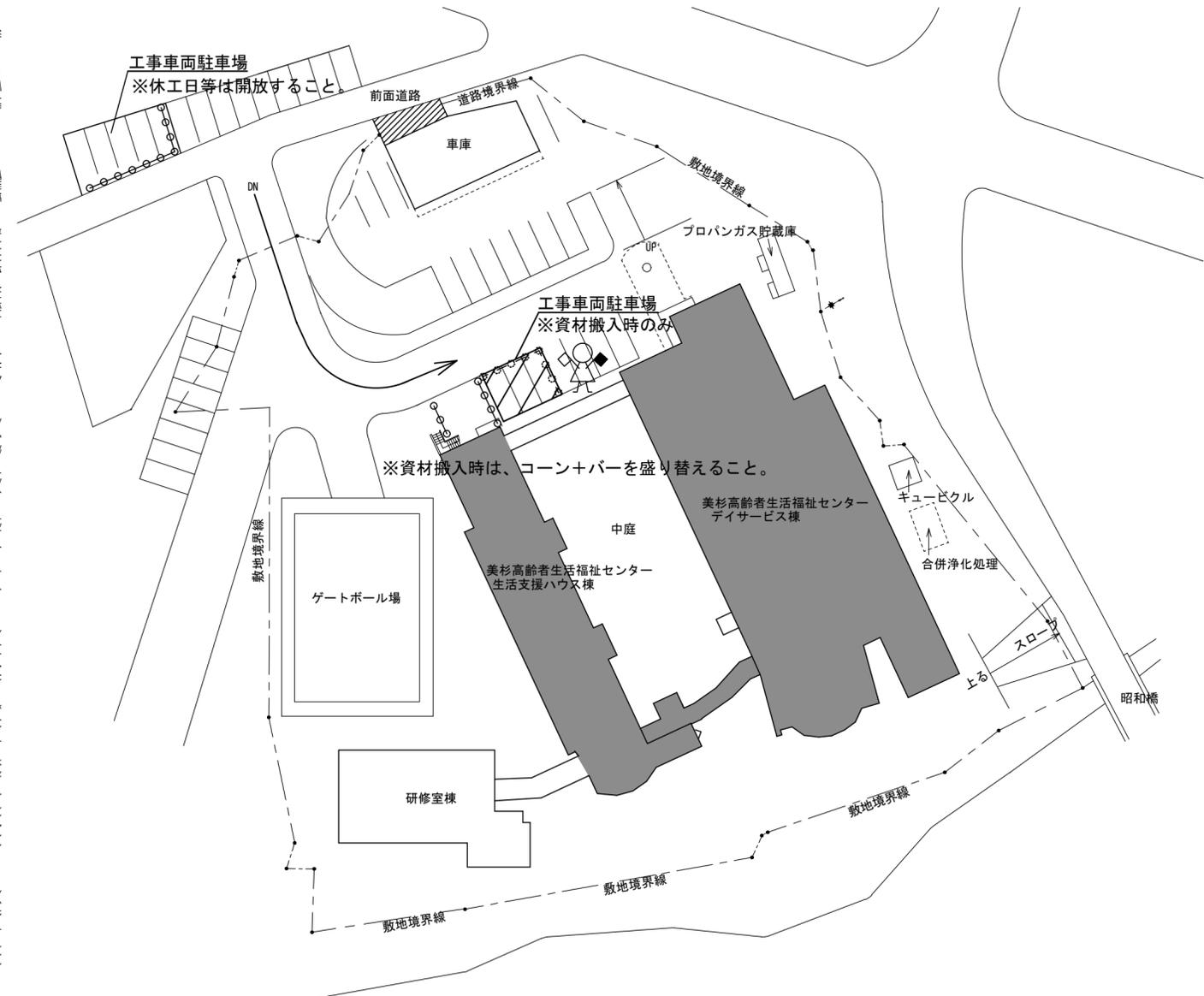


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
13	軽量シャッター (5.10.2) (表5.10.1)	開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形									
14	オーバーヘッドドア (5.11.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチャル形 (5.11.3)									
15	ガラス (5.12.2(a))	ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 板ガラス 種類 材料板ガラスの種類及び厚さ等 ・ フロート板ガラス ・ 型強化ガラス ・ 網入り板ガラス ・ 線入り板ガラス ・ 合わせガラス ・ 強化ガラス ・ 熱線吸収板ガラス ・ 複層ガラス ・ 熱線反射ガラス ・ 鉛入りガラス (5.12.2(a))									
17	ガラス留め材 (5.12.2(b))	ガラス留め材 建具の種類 種類 アルミニウム製 ・ ガスケット ・ シーリング材 鋼製 ・ シーリング材 ・ ガスケット ステンレス製 ・ シーリング材 ・ ガスケット									
18	ガラスブロック積み	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ※ 図示 金属枠、補強材 ※ 図示 化粧カバー ※ 図示 工法 ・ 図示									
6	① 一般事項 (6.1.3(b))	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ・ 天井 図示による ・ 壁 図示による ・ 床 図示による									
	(6.1.3(c))	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ( 図示による )									
	(6.1.3(f))	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ( 図示による )									
2	② 既存床撤去、 下地補修 (6.2.2(a)(1)) (6.2.2(a)(2)) (6.2.2(c))	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗布床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ( )									
3	既存壁撤去、 下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ( )									
4	木下地等 (6.5.1(c)) (表6.5.1) (6.5.2(a)(1)) (表6.5.2) (6.5.2(a)(2)(ii)) (6.5.2(a)(2)(iii)) (6.5.2(a)(2)(iv)) (表6.5.3)	表面仕上げ ・ A種 ※ B種 ・ C種 木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種別 構造材 ※ A種 ・ B種 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 保存処理木材 ※ 図示による 構造材及び下地材の等級 ※ 改修仕6.5.2(a)(2)(iii)による 造作材の等級 ※ A種 ・ B種									
		③ 軽量鉄骨 天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)									
		④ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		⑤ ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑥ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑦ ビニル巾木 H=100									
		⑧ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		⑨ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑩ ビニル巾木 H=100									
		⑪ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		⑫ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑬ ビニル巾木 H=100									
		⑭ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		⑮ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑯ ビニル巾木 H=100									
		⑰ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		⑱ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		⑳ ビニル巾木 H=100									
		㉑ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㉒ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㉓ ビニル巾木 H=100									
		㉔ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㉕ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㉖ ビニル巾木 H=100									
		㉗ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㉘ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㉙ ビニル巾木 H=100									
		㉚ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㉛ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㉜ ビニル巾木 H=100									
		㉝ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㉞ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㉟ ビニル巾木 H=100									
		㊱ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊲ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊳ ビニル巾木 H=100									
		㊴ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊵ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊶ ビニル巾木 H=100									
		㊷ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊸ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊹ ビニル巾木 H=100									
		㊺ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊻ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊼ ビニル巾木 H=100									
		㊽ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊾ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊿ ビニル巾木 H=100									
		㊱ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊲ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊳ ビニル巾木 H=100									
		㊴ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊵ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊶ ビニル巾木 H=100									
		㊷ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊸ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊹ ビニル巾木 H=100									
		㊺ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊻ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊼ ビニル巾木 H=100									
		㊽ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊾ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊿ ビニル巾木 H=100									
		㊱ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊲ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊳ ビニル巾木 H=100									
		㊴ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊵ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊶ ビニル巾木 H=100									
		㊷ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊸ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊹ ビニル巾木 H=100									
		㊺ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊻ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊼ ビニル巾木 H=100									
		㊽ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊾ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊿ ビニル巾木 H=100									
		㊱ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊲ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊳ ビニル巾木 H=100									
		㊴ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊵ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊶ ビニル巾木 H=100									
		㊷ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊸ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床 タイル張り (6.8.2) (6.8.2(a)) (6.8.2(b)) (6.8.2(c)(1)) (6.8.2(c)(2)) (6.8.2(c)(3)) (6.8.2(e))									
		㊹ ビニル巾木 H=100									
		㊺ 軽量鉄骨 壁下地 (6.7.2) (6.6.4(a)(1))									
		㊻ ビニル床 シート、ビニル 床タイル 及びゴム床									





付近見取図



配置図 1/500

○●○●○● : コーン+バー

■ : 改修建物

人 ◆ : 交通誘導員(資材搬入時のみ)

工事名称  
★ 津市家庭医療クリニック設置に伴う  
★ 津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事

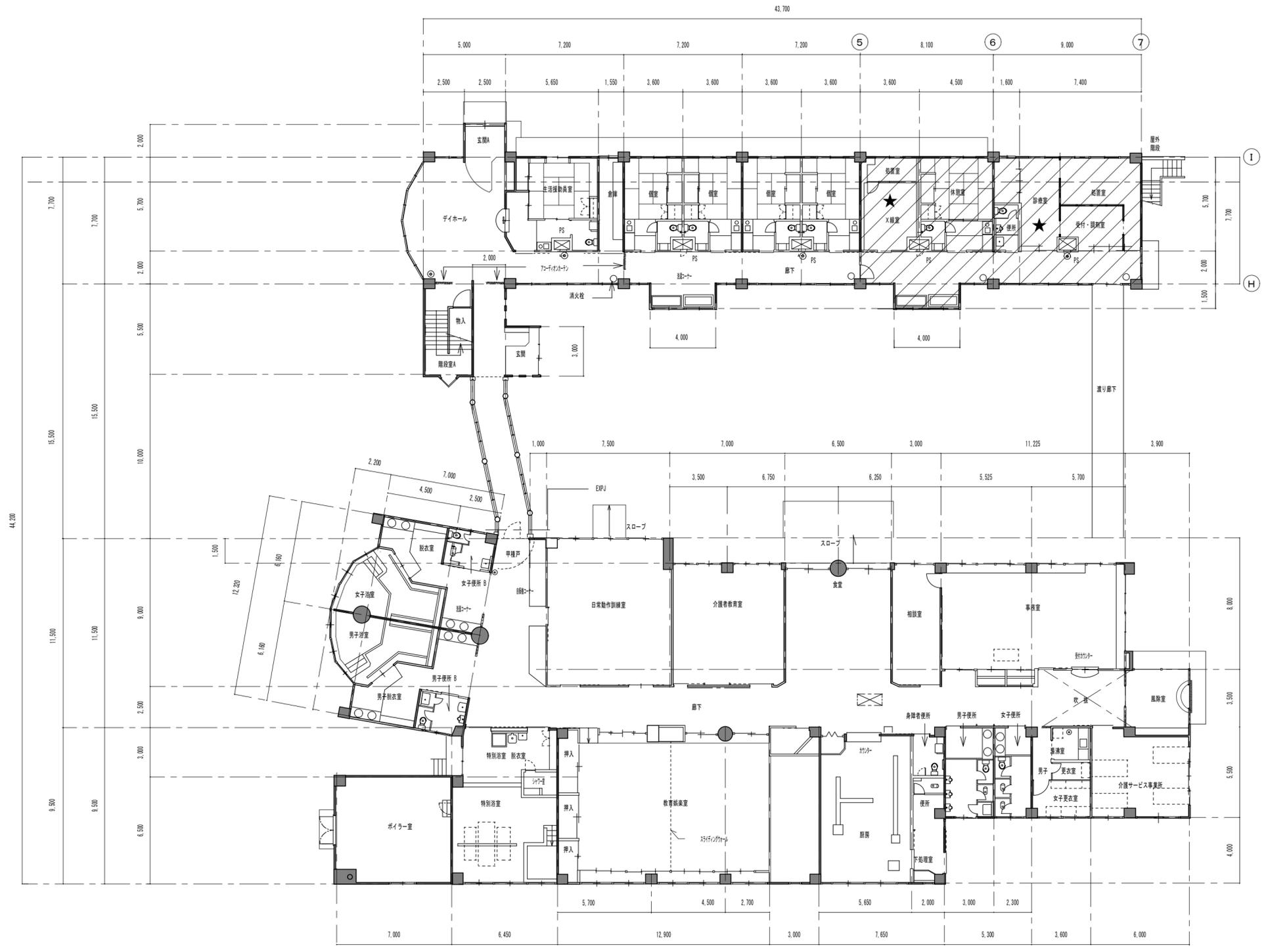
図面名称  
★ 付近見取図・配置図

縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
A2 : 1/500	★	★	★	★	★
A3 : 1/710	★	★	★	★	★

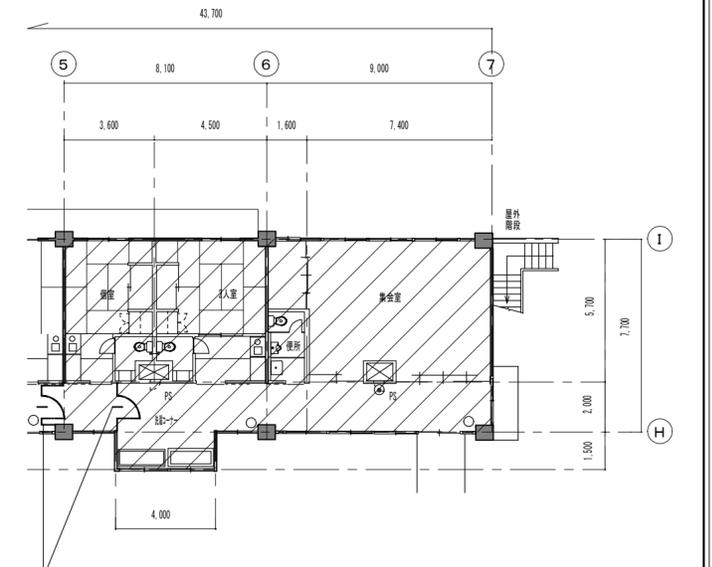
藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

A-05



改修後 1階 平面図



改修前 1階 平面図

仮設間仕切壁新設 木製片開フラッシュ戸W900×H2000新設 (内1か所鍵付き)  
目張り養生とも

: 診療所設置場所

★ : 化学濃度測定箇所 (2箇所)

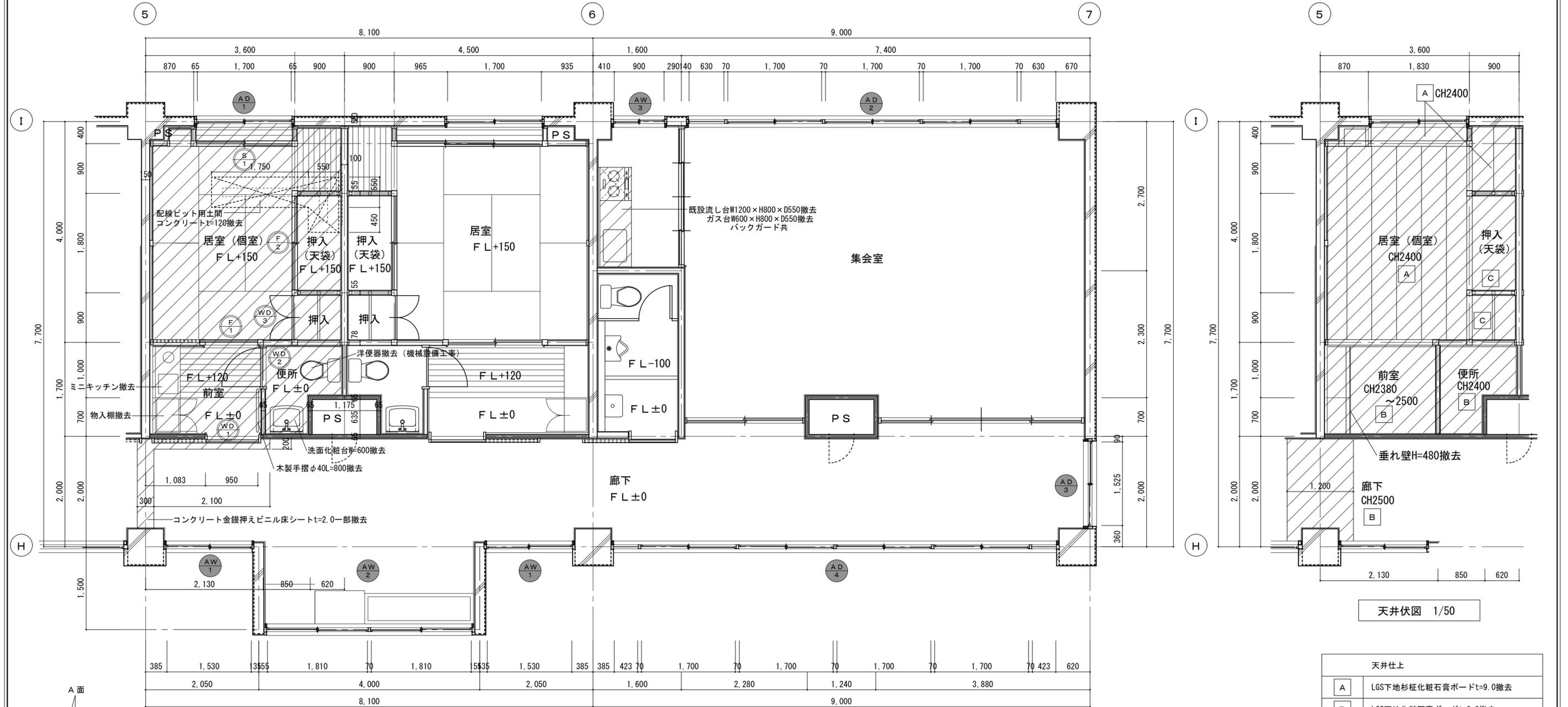
工事名称 津市家庭医療クリニック設置に伴う ★ 津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事	図面名称 ★ 改修前後 1階 平面図	縮尺 A2 : 1/200 A3 : 1/282	日付 ★	訂正 ★	担当 ★	承認 ★	備考 ★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A-06
---	-----------------------	--------------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	--------------------------	------

改修前 仕上表 平面詳細図 天井伏図

改修前

内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
居室(個室)	転ばし床組ラワンベニヤt=12.0敷t=55撤去 転ばし床組ヒノキフローリングt=12.0撤去	畳寄せ 雑巾摺り撤去	木製下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去 PBt=12.5GL張ビニルクロス張一部撤去	LGS下地杉化粧石膏ボードt=9.0撤去	2400	木製廻縁撤去
居室前室	コンクリート金鍍押えビニル床シートt=2.0撤去 転ばし床組ヒノキフローリングt=12.0撤去	木製巾木H=100撤去 雑巾摺り撤去	木製下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去 LGS=65下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去	LGS下地化粧石膏ボードt=9.0撤去	2500	ミニキッチンW900×D500×H1900、物入棚、木製手摺φ40L=800撤去
居室便所	コンクリート金鍍押えビニル床シートt=2.0撤去	ソフト巾木H=100撤去	木製下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去 LGS=65下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去	LGS下地化粧石膏ボードt=9.0撤去	2400	洗面化粧台W=600撤去
居室押入	転ばし床組シナ合板t=5.5撤去	雑巾摺り撤去	木製下地シナ合板t=5.5張一部撤去	木製下地シナ合板t=5.5張一部撤去		天袋撤去
廊下	コンクリート金鍍押えビニル床シートt=2.0一部撤去	木製巾木H=100一部撤去	PBt=12.5GL張ビニルクロス張一部撤去 LGS=65下地PBt=12.5+PBt=9.5ビニルクロス張一部撤去	LGS下地化粧石膏ボードt=9.0撤去	2500	塩ビ廻縁、室名札撤去
集会室						既設流し台、ガス台撤去

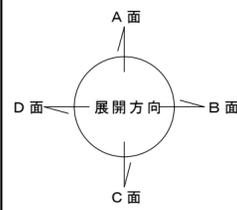


平面詳細図 1/50

天井伏図 1/50

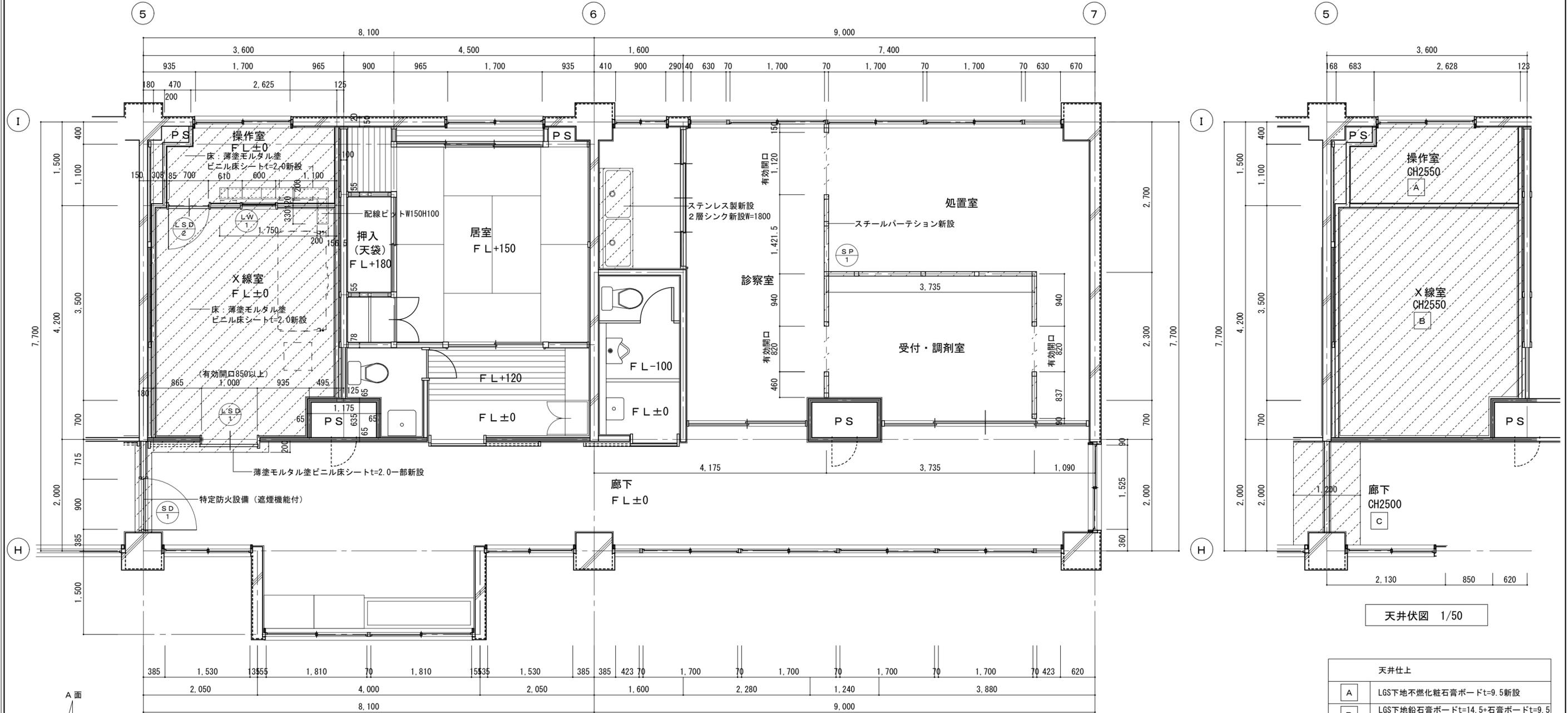
天井仕上	
A	LGS下地杉化粧石膏ボードt=9.0撤去
B	LGS下地化粧石膏ボードt=9.0撤去
C	木製下地シナ合板t=5.5張一部撤去

ハッチング部分は、撤去範囲を示す。  
 は、壁防火上主要な間仕切壁両面PBt=12.5+PBt=9.5 2重張部分を示す。  
 ガラスフィルム張り(飛散防止、不透明)を示す。



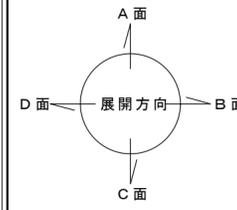
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
操作室	薄塗モルタル塗ビニル床シートt=2.0新設	ソフト巾木H=100新設	PBt=12.5GL張不燃ビニルクロス張一部新設 LGSW=65下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5 不燃ビニルクロス張新設	LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5新設	2550	塩ビ回縁、木製額縁新設 床配線ビッド、出入口扉(X線防護扉)新設
X線室	薄塗モルタル塗ビニル床シートt=2.0新設	ソフト巾木H=100新設	LGSW=65下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5 不燃ビニルクロス張新設 既設LGSW=65下地鉛石膏ボードt=14.5+PBt=12.5 +硬質PBt=9.5不燃ビニルクロス張一部新設	LGS下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5 不燃ビニルクロス張新設	2550	塩ビ回縁新設 操作窓(鉛7カリ製)、床配線ビッド、出入口扉(X線防護扉)新設
廊下	薄塗モルタル塗ビニル床シートt=2.0一部新設	木製巾木H=100 CL塗一部新設	PBt=12.5GL張不燃ビニルクロス張一部新設 LGSW=65下地PBt=12.5+硬質PBt=9.5 不燃ビニルクロス張一部新設	LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5一部新設	2500	塩ビ回縁、室名札(7カリ製:突出し)W300×H100新設
診察室					2500	スチールパーティション、ステンレス製2層シンク新設



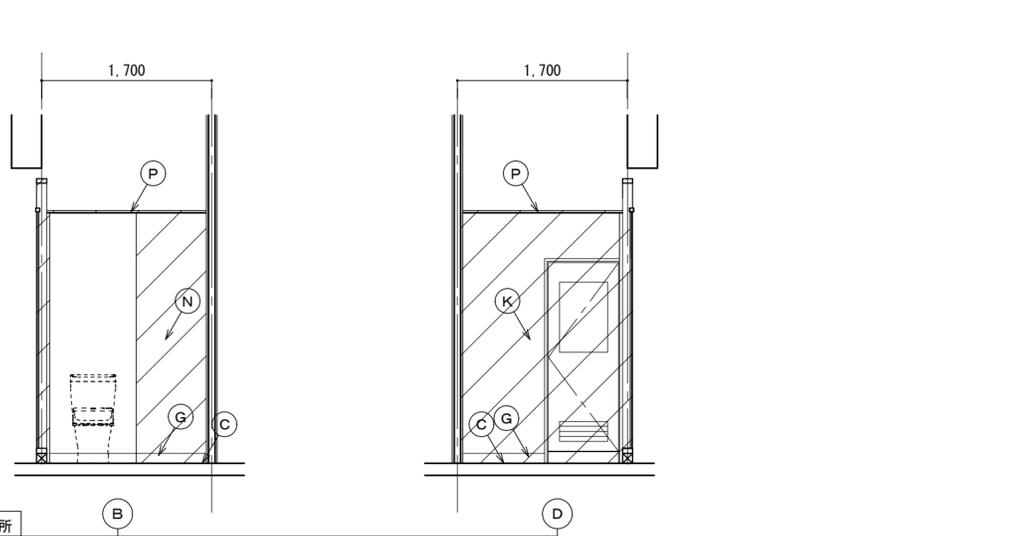
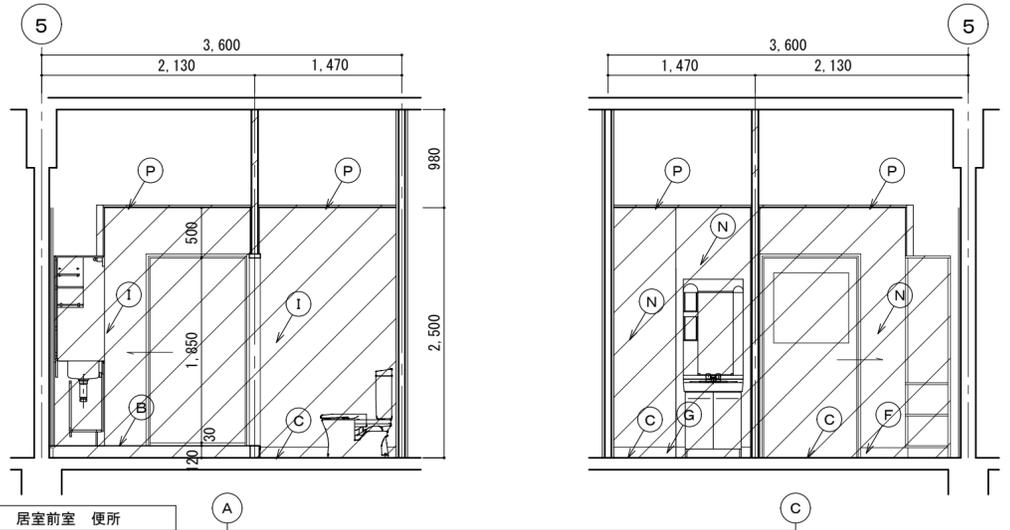
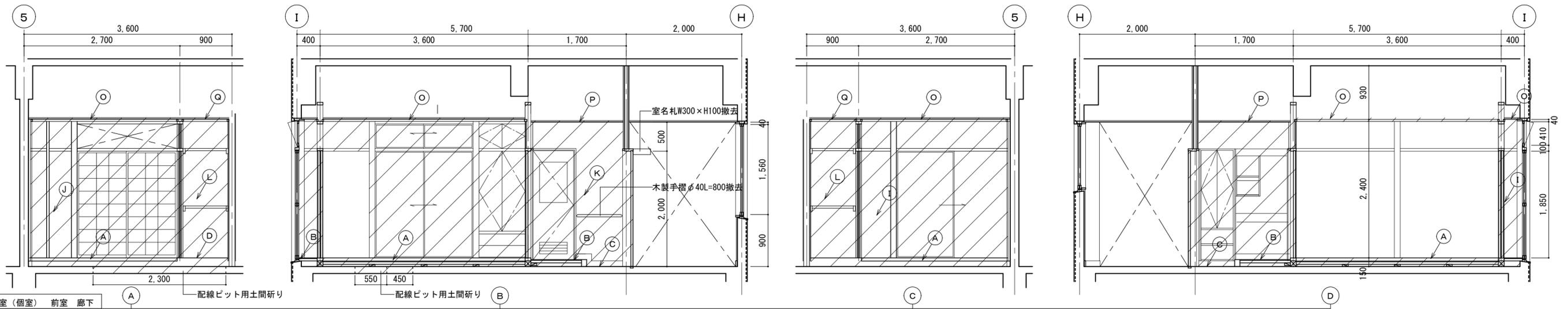
平面詳細図 1/50

天井伏図 1/50



ハッチング部分は、改修範囲を示す。  
 は、壁防火上主要な間仕切壁両面PBt=12.5+PBt=9.52重張部分を示す。  
 改修部分の間仕切壁は、PBt=12.5+硬質PBt=9.5 2重張とする。  
 (改修部分X線室側は、鉛ボードt=14.5+PBt=12.5+硬質PBt=9.5 2重張とする。)  
 ※居室を除くすべての窓にガラスフィルムを張ること(不透明)

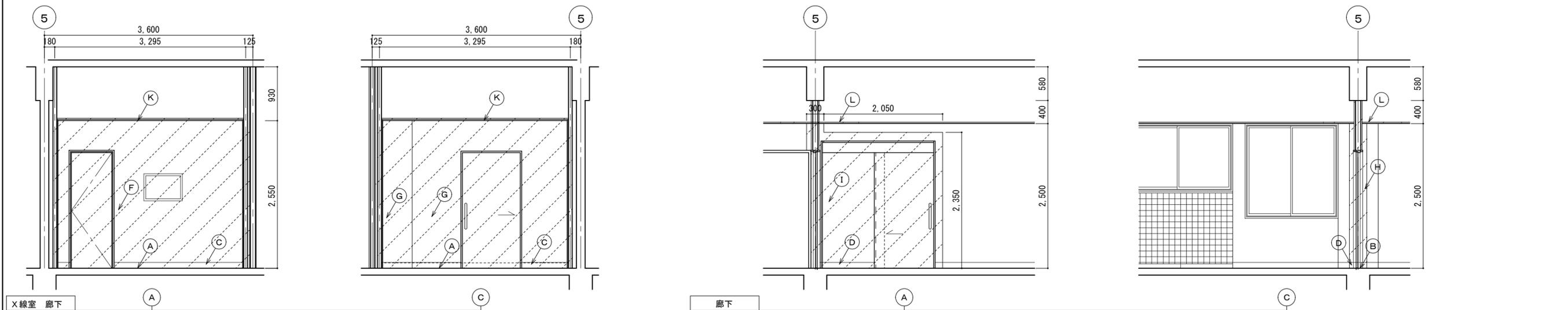
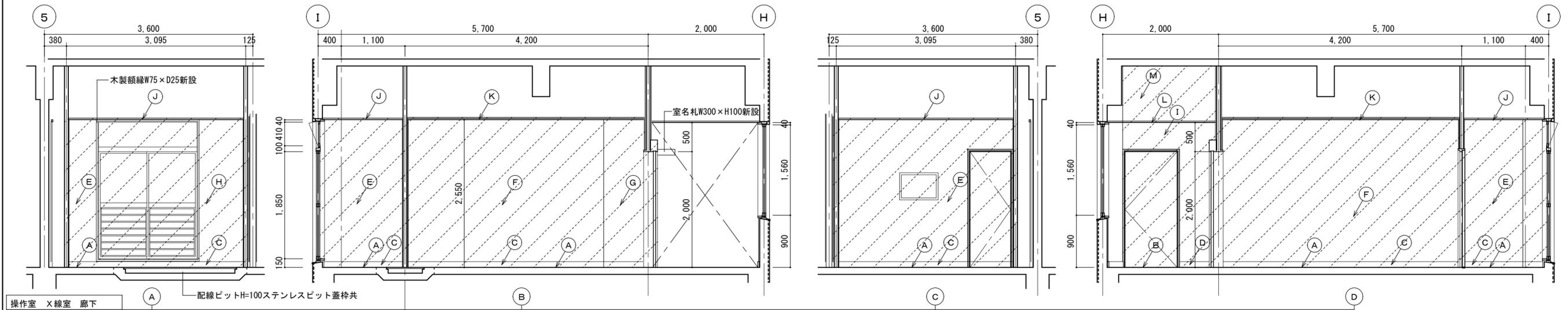
天井仕上	
A	LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5新設
B	LGS下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5 不燃ビニルクロス張新設
C	LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5一部新設
	廻縁は、塩ビ製とする。



ハッチング部分は、撤去範囲を示す。

※ 居室、押入 B面居室間仕切部分の仕上げは撤去しない。  
居室 D面居室間仕切部分の仕上げは撤去しない。

内部仕上表				
	床	巾木	壁	天井
A	転ばし床組ラワンベニヤt=12.0畳敷t=55撤去	F 木製巾木H=100撤去	I 木製下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去	O LGS下地杉化粧石膏ボードt=9.0撤去
B	転ばし床組ヒノキフローリングt=12.0撤去	G ソフト巾木H=100撤去	J PBt=12.5GL張ビニルクロス張一部撤去	P LGS下地化粧石膏ボードt=9.0撤去
C	コンクリート金銀押えビニル床シートt=2.0撤去	H 木製巾木H=100一部撤去	K LGSW=65下地PBt=12.5ビニルクロス張一部撤去	Q 木製下地シナ合板t=5.5張一部撤去
D	転ばし床組シナ合板t=5.5撤去		L 木製下地シナ合板t=5.5張一部撤去	R LGS下地化粧石膏ボードt=9.0一部撤去
E	コンクリート金銀押えビニル床シートt=2.0一部撤去		M PBt=12.5GL張ビニルクロス張一部撤去	
			N LGSW=65下地PBt=12.5+PBt=9.5ビニルクロス張一部撤去	



ハッチング部分は、改修範囲を示す。

内部仕上表				
	床	巾木	壁	天井
A	薄塗モルタル塗ビニル床シートt=2.0新設	C ソフト巾木H=100新設	E LGSW=65下地PBt=12.5不燃ビニルクロス張新設	J LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5新設
B	薄塗モルタル塗ビニル床シートt=2.0一部新設	D 木製巾木H=100 CL塗一部新設	F LGSW=65下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5不燃ビニルクロス張新設	K LGS下地鉛石膏ボードt=14.5+石膏ボードt=9.5不燃ビニルクロス張新設
			G 既設LGSW=65下地面鉛石膏ボードt=14.5+PBt=12.5+硬質PBt=9.5不燃ビニルクロス張一部新設	L LGS下地不燃化粧石膏ボードt=9.5一部新設
			H PBt=12.5GL張不燃ビニルクロス張一部新設	M LGSW=65下地面PBt=12.5+硬質PBt=9.5新設 (スラブ下まで)
			I LGSW=65下地PBt=12.5+硬質PBt=9.5不燃ビニルクロス張一部新設	



改修建具表 雑詳細図

記号・数量	AD1 × 1箇所	AD2 × 1箇所	AD3 × 1箇所	AD4 × 1箇所
形状				
場所	居室(個室)	集会室	廊下	廊下
形式	7mm製ラマ付引違い戸	7mm製袖窓ラマ付引違い戸	7mm製引き違い戸	7mm製両袖Fix3連引違い窓上部ラマ引違い戸
見込				
材質・仕上				
硝子	型ガラスt=5.0	型ガラスt=5.0	型ガラスt=5.0	型ガラスt=4.0
金物				
備考				
記号・数量	AW1 × 2箇所	AW2 × 1箇所	AW3 × 1箇所	
形状				: ガラスフィルム張り(飛散防止、不透明)
場所	廊下	廊下	集会室	
形式	7mm製引違い窓	7mm製2連引違い窓	7mm製引違い窓	
見込				
材質・仕上				
硝子	型ガラスt=4.0	型ガラスt=4.0	型ガラスt=3.0	
金物				
備考				

津市家庭医療クリニック設置に伴う津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事 工事設計図

平成 年 月 (金 祝)

仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所 津市 美杉町奥津 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
美杉高齢者生活福祉センター	RC造	2階建	1250.76㎡	(6)口	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記)

3. 工事項目 (●印の付いたものを適用する)

建物別及び層別	工 事 種 目			
工 事 種 目				
● 電灯設備	一式			
● 動力設備	一式			
○ 電熱設備				
○ 電保護設備				
● 受変電設備	一式			
○ 電力貯蔵設備				
○ 発電機設備				
○ 構内通信設備				
● 構内交換設備	一式			
○ 情報表示設備				
○ 映像・音響設備				
○ 音声設備				
● 誘導支援設備	一式			
○ テレビ共同受信設備				
○ 監視カメラ設備				
○ 駐車場管理設備				
○ 防犯・入退室管理設備				
● 自動火災報知設備	一式			
○ 中央監視制御設備				
○ 構内配電線路				
○ 構内通信線路				
○ テレビ電波障害防除設備				
○ 仮設工事				
○				
○				
○				

4. 指定部分 ○ 施 有 ( )

II. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管理業務監督の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。 )及び「公共建築改修工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。)による。

2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は( ) 図、建築工事の工事仕様書は( ) 図による。

2. 特記仕様

1) 項目は●印の付いたものを適用する。

2) 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
● 機材	<p>(1) 本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。</p> <p>(2) 本工事に使用する機材のうち、外製機材(「社」公共建築協会他)が下記1)～6)の品質及び性能等を評価している機材は、その機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書類の写しを、監督職員に提出し承認を受けることにより、その機材について評価された品質及び性能等の資料は、監督職員への提出を省略することができる。</p> <p>1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。</p> <p>3) 安定的な供給が可能であること。</p> <p>4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。</p>
○ 化学物質を放散させる機材等	<p>本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集材材、単層板、紙、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>5) 上記1)、3)及び4)の機材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>なお、ホルムアルデヒドを放散させないものは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する機材がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p>

- 室内空気中の化学物質の濃度測定
- グリーン購入法
- 電源周波数
- 電気工作物の種類
- 電気保安技術者
- 電気工士
- 工事用電力・水等
- 監督事務所
- 工事用仮設物
- 足場、さん機
- 工事写真・完成図
- 養生材の処理
- 養生材の処理
- 養生材の処理
- 新設施工

また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する機材等
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。

測定はパンプ型採取機器により行う。

測定時期 工事着工前 施工終了時

測定対象室 図示

測定箇所数 図示

「図等による環境物品等の流通に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく特定調達品目「公共工事」の品目

・照明制御システム ○変圧器

・50Hz ○60Hz

○事業用電気工作物 一般用電気工作物

・要 ・不要

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法で定める主任技術者のもと「〇〇制定の〇〇〇〇事業用電気工作物保安規程〇〇」に定める工事担当技術者(監督職員)の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工士により施工を行うものとする。

本工事に必要な工事用電力・水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、請負者の負担とする。

・設けない ・設ける(規模及び仕上げの程度は、現場説明書による。)

すべて請負者の負担とする。

構内につくることが ・できる ・できない

・別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。

・本工事で設置とする。

・改修工事の場合は、改修標準仕様書第1編 2.2.2によるほか下記による。

・内部仮設足場等( ・ 種 ・ 種)

・外部仮設足場等( ・ 種 ・ 種)

工事写真は、国土交通省大臣官庁官庁管理業務監督「工事写真の撮り方(改訂第3版)建築設備編」によるほか、監督職員の指示による。

・完成図のCADデータの提出 ・要 ・不要

・既存完成図(CADデータ)の修正を行う。

1) 引渡しを要するもの

・有( ・金属類 )

2) 引渡しを要するもの以外

・構外搬出し、搬出し及びその処理費は別途とする。

3) 特別管理産業廃棄物

・有( PCB使用機器 : 変圧器、OCR、コゾノ )

PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。

4) 再利用又は再資源化を図るもの

・有( )

・現場説明書による。

・現場説明書による。

・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内場所に敷きならしとする。

設備機器の固定は、下記によるほか「建築設備制設計-施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力

機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平地震係数を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平地震係数は、次による。

設置場所	機器種別	○ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水櫃類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水櫃類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水櫃類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】(※1) 水櫃類には、オイルタンク等を含む。

重要機器

○配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・

上層階の定義は次による。

2~4階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

● 電線本数、管路など

● 呼び線

○ 金属製電線管の選定

○ 非常用の照明装置の照度測定箇所

● コンセント

● プレーートの材質

○ インバータ装置の規約効率

分電盤、制御盤及び端子箱等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数及び管理等は、監督職員の承認を受けて図面と相違しても差し支えない。

また、機械室等の床埋込配管が図面上で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上の被覆鉄線を挿入する。

下記の露出配管は塗装を行う。

・屋外 ・屋内( )

測定数 箇所以上

図面に特記なき場合は、コンセント2P15A(接地極付)は、プラグ不要とする。

フラッシュプレート ○金属製 ・樹脂製

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

【備考】(1) 規約効率は、JEM-TR 245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。

(2) 規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、1P4K、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

構内線路における埋設管の材質及びその数は、図面に記載のない場合は次による。

・鉄製( 箇所) ・コンクリート製( 箇所)

図面において、室名に( ) を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。

接地線の材料は下記による。

な、銅線径φ(14φ)の長さは1,500mm以上とし、(10φ)はφ=30、L=900、(14φ)はφ=40、L=1,200としても差し支えない。(雷保護用を除く。)

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共同接地	E a a	10Ω以下	EP(900□1.5t)×1 根
・ 共同接地	E a c a	10Ω以下	EB(14φ)3連×1 根
・ A種接地	E a	10Ω以下	EB(14φ)3連×2 根
・ B種接地	E b	150Ω以下	EP(600□1.5t)×1 根
・ C種接地	E c	10Ω以下	EB(14φ)3連×1 根
○ D種接地	E d	100Ω以下	EB(10φ)×1根 (L=1,000mm)
・ 高圧変置器	E u	10Ω以下	EB(14φ)×3連×2根
・ 低圧変置器	E ll	10Ω以下	EB(14φ)×3連×2根
・ 雷保護用	E l a	Ω以下	・ EB(14φ)3 連×1 根
・ 交換機用	E i	10Ω以下	EB(14φ)3連×1 根
・ 電話引込口の保安器	E ll	100Ω以下	EB(10φ)×1 (L=1,000mm)
・ 誘電用	E n	10Ω以下	EB(14φ)×3連×2根
・ 誘電用	E n	100Ω以下	EB(10φ)×1 (L=1,000mm)
・ 測定用	E o	10Ω以下	EB(10φ)×1 (L=1,000mm)
・			
・			

次の記号で使用する電線種は、下記仕様による。

記号	仕 様
EM-UTP	JCS 5503「耐熱性ポリオレフィンシースLAN用ツイストペアケーブル」
(EM-UTP5)	耐熱性ポリオレフィンシース カタゴリ5e UTPケーブルUTP-CAT5(F)
(EM-UTP6)	耐熱性ポリオレフィンシース カタゴリ6 UTPケーブルUTP-CAT6(F)
(EM-UTP6A)	耐熱性ポリオレフィンシース カタゴリ6A UTPケーブルUTP-CAT6A(F)

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高 [mm]
ブラケット(一般)	床面～中心	2,100
” (鏡箱)	”	2,500
” (鏡上)	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下誘導誘導灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ(一般)	床面～中心	1,300
” (多機能トイレ)	”	1,100
コンセント、電線用アウトレット、直列ユニット(一般)	”	300
” (和室)	”	150
” (台所)	”	150
コンセント(庫裏)	床面～中心	800
コンセント(車椅子用)	床面～中心	900
引込閉鎖装置(紙圧)	床面～中心	1,500
分電盤、0A盤、制御盤、実験盤	床面～中心	1,500(上層1,900以下)
閉鎖扉	”	1,500
電磁閉鎖用押しボタン	”	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
雷保護用接地端子箱	床面～下端	800
接地線埋設管	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
端子盤 (EPS・電気室)	床面～中心	1,500
取付計	”	1,500
子供計、スビーカ	”	(天井高)WU-00070.9
アタッチネータ	”	1,300
出退表示盤	”	(天井高)WU-00070.9
発信機(出退表示用)	”	1,300
インターホン	”	1,300
外部受付用インターホン機	”	標準図による。
押しボタン(多機能トイレ)	”	900
復帰ボタン( ” )	”	1,800
廊下表示灯( ” )	”	2,000
テレビ機器収納箱	”	1,800
火報受信機(複合盤)	床面～操作部	800~1,500
副受信機	床面～中心	1,500
機器収納箱	”	800~1,500
発信機	”	800~1,500
警報ベル	”	(天井高)WU-00070.9
表示灯	”	(天井高)WU-00070.8
運動制御器(自動閉鎖)	”	1,500
ガス漏れ検知器(LPGガス)	”	300
” (都市ガス)	天井面～中心	(天井面)×200(壁面取付の場合)

【備考】(天井高) 確保取付高さ は、河野規070.800~3,000mmの場合に適用する。

● 施工図等の取扱い

○ 施工図表

● 仮設設備工事

○ 養生

施工図等の著作権に係わる当該建物に関する使用権は、発注者に帰属するものとする。

・事前調査

調査項目 ( )

調査範囲 ( / ) 図による。

・監督職員の指示による。

調査方法 ( / ) 図による。

・はつり工事は、事前に公差式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。

・非破壊検査 撮影枚数 枚以上

伝電道 ( ・ 受変電 ○ 電 )

仮設機期間 ○ 図示 ( ・ )

養生範囲 ( / ) 図による。

養生方法 ( / ) 図による。

原 因 : A 2

TITLE 津市家庭医療クリニック設置に伴う津市美杉高齢者生活福祉センター改修工事

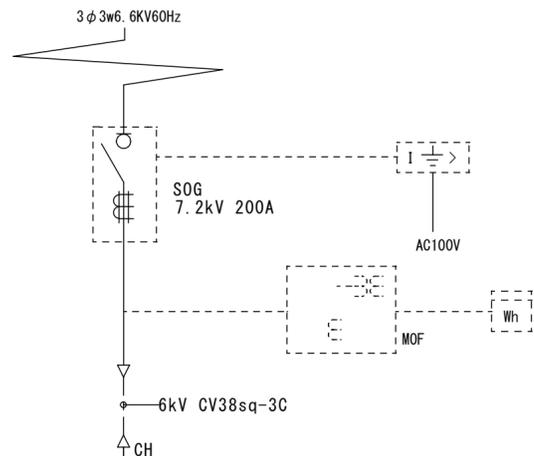
DRAWING TITLE 電気設備 特記仕様書

SCALE

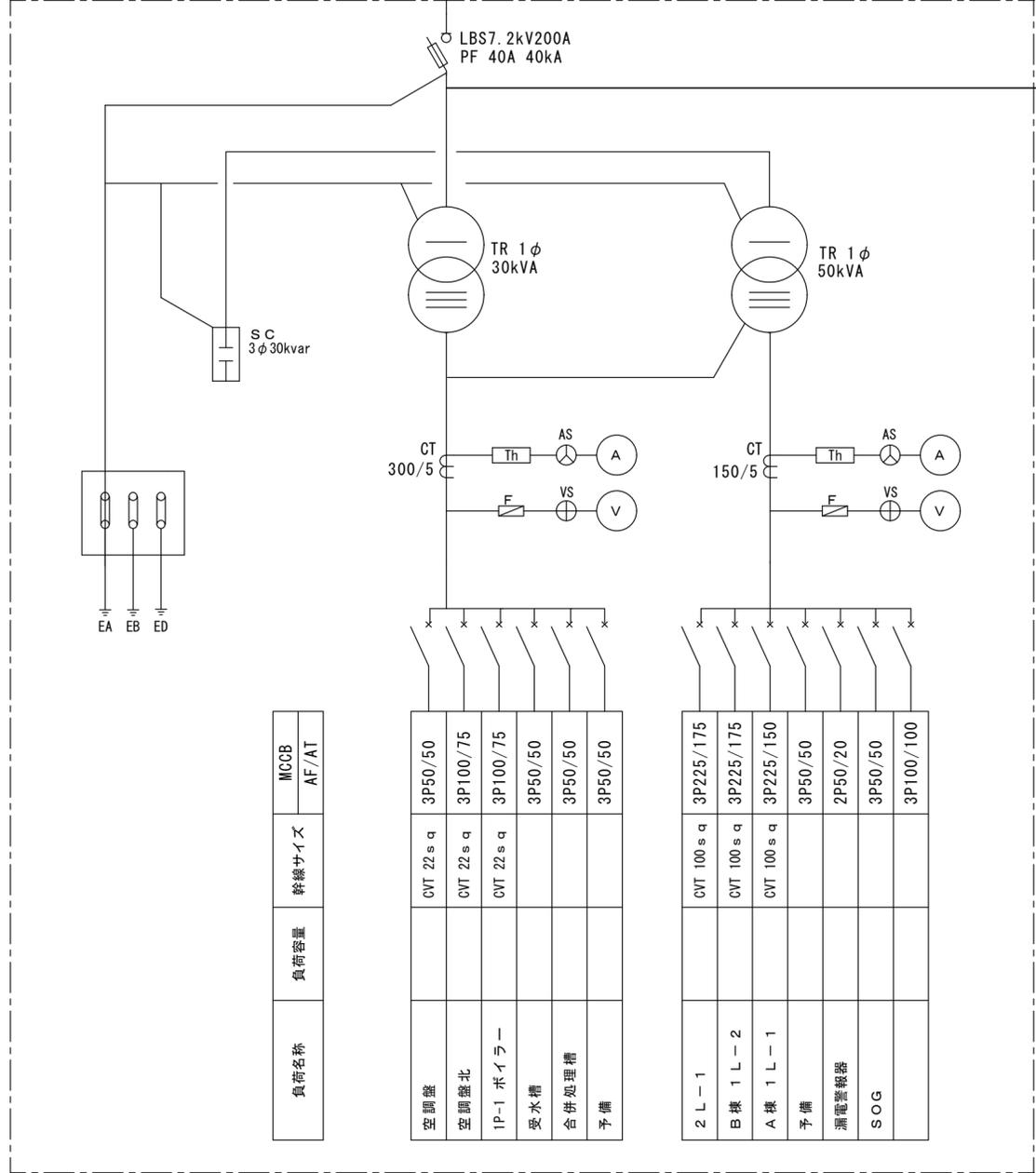
一級建築士事務所 三重県登録第1-739号 藤川設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第222551号 田中 富士夫

設計者 一級建築士 第222551号 田中富士夫

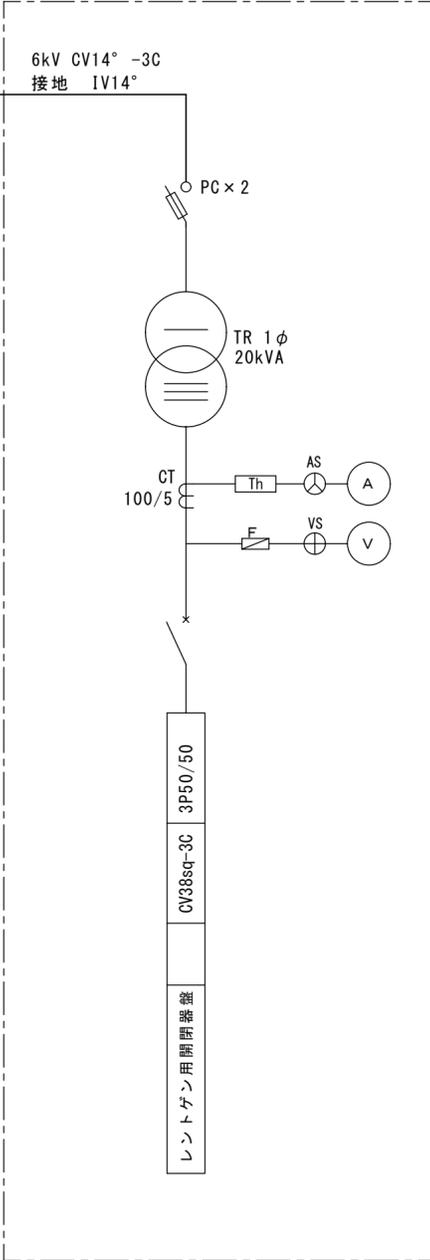
No. E-01



単線結線図

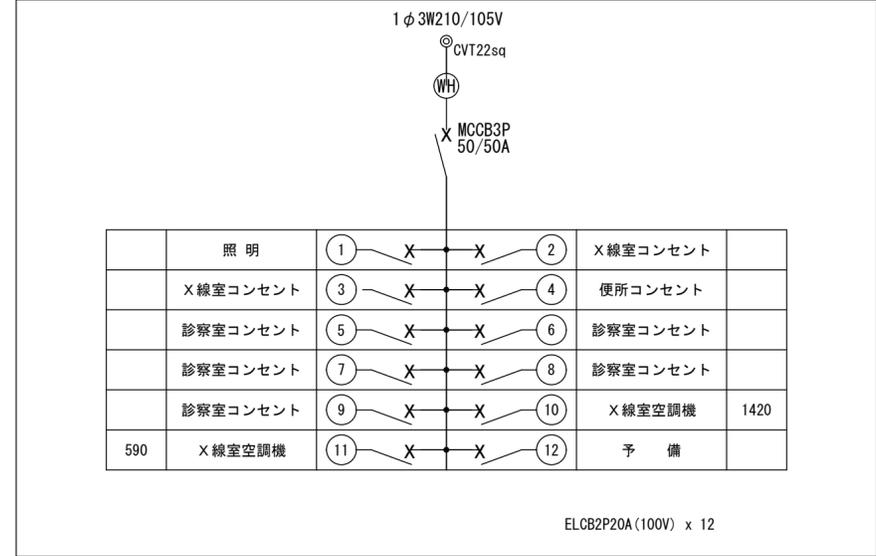


変圧器盤 屋外自立型  
今回新設

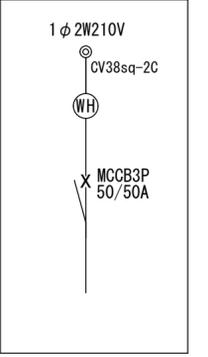


負荷名称	負荷容量	幹線サイズ	MCCB AF/AT
空調盤		CVT 22sq	3P50/50
空調盤北		CVT 22sq	3P100/75
1P-1 ボイラー		CVT 22sq	3P100/75
受水槽			3P50/50
合併処理槽			3P50/50
予備			3P50/50
2L-1		CVT 100sq	3P225/175
B棟 1L-2		CVT 100sq	3P225/175
A棟 1L-1		CVT 100sq	3P225/150
予備			3P50/50
漏電警報器			2P50/20
SOG			3P50/50
			3P100/100

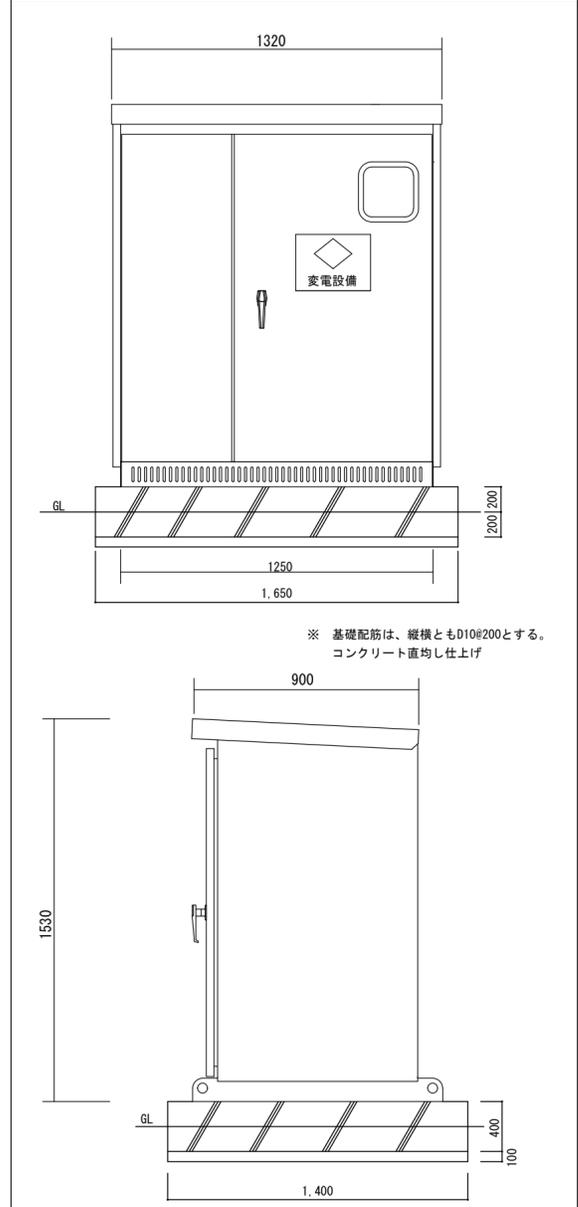
電灯盤 L-A



開閉器盤 L-B



参考外形図



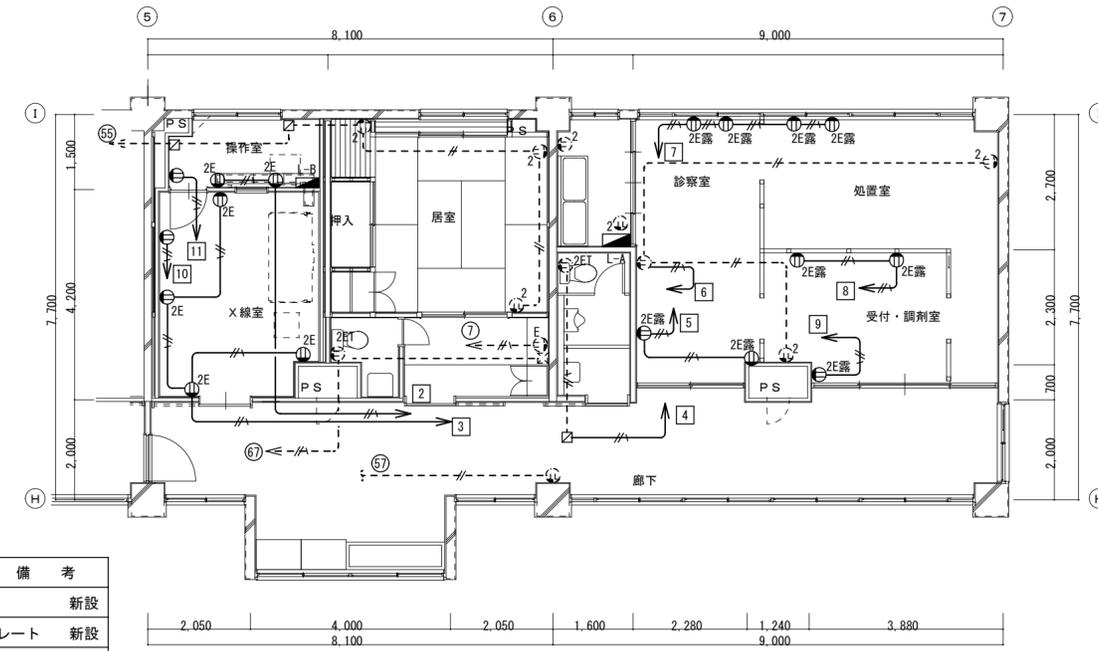
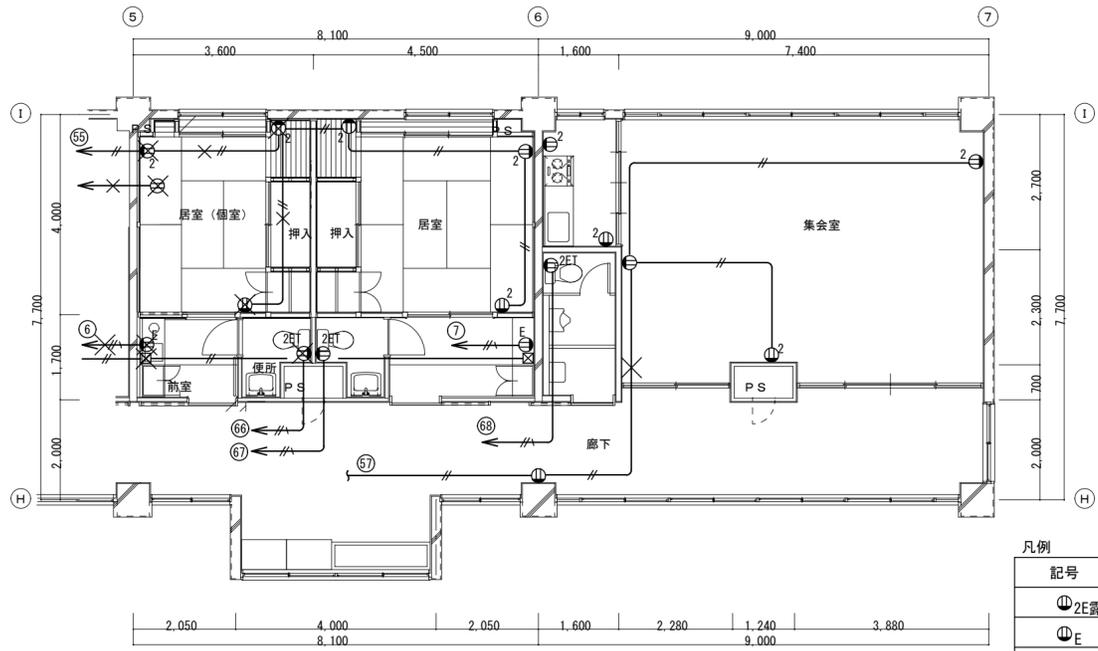
照明器具姿図 (参考)

A	LEDベースライト 調光対応型 公共型番 : LSS9-6800LM-LN
B	LEDベースライト 公共型番 : LSS9-6800LM-LX
C	LEDベースライト 参考型番 : NNF11930+FK11531
D	LEDダウンライト 公共型番 : LRS1-950LM



改修前

改修後



改修前コンセント設備図 S=1/100

改修後コンセント設備図 S=1/100

凡例

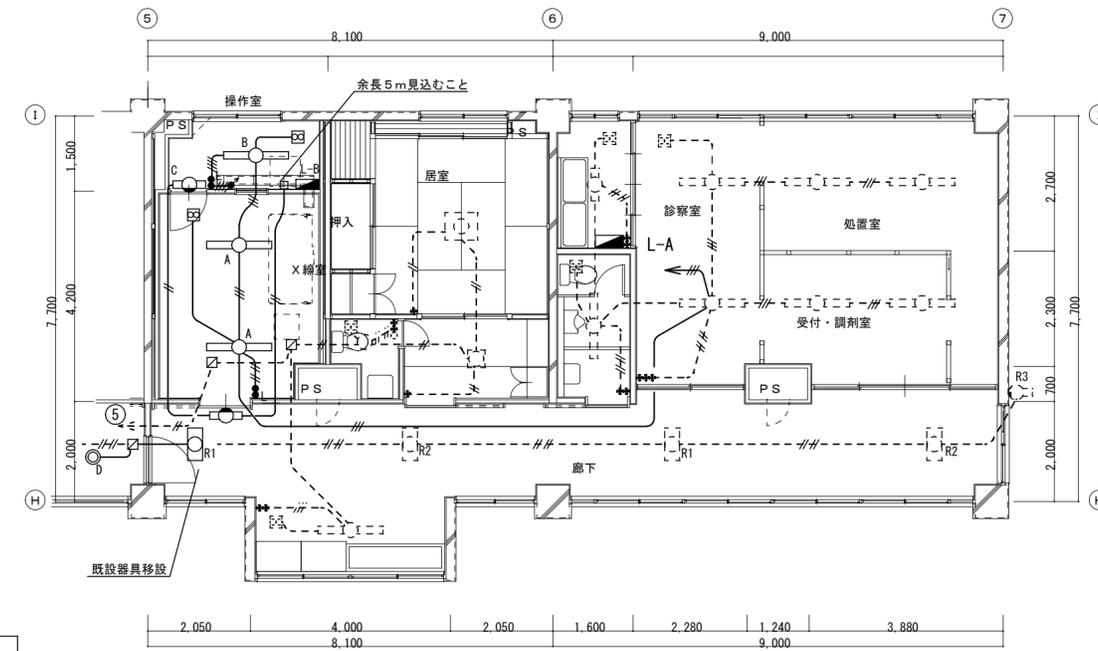
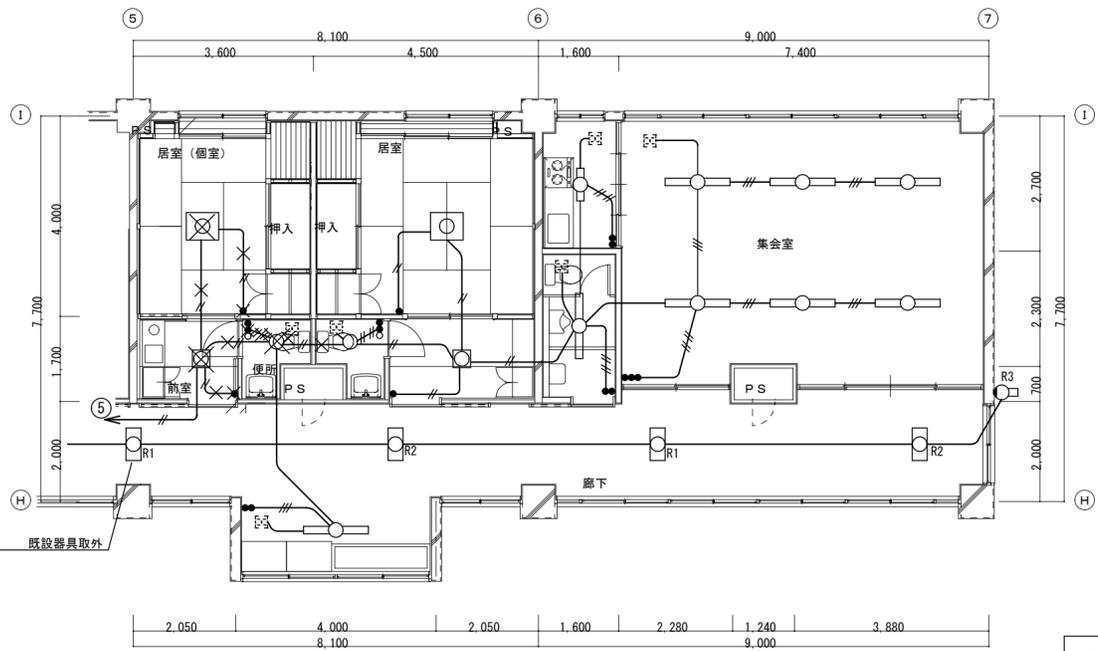
記号	名称	備考
⊕ <sub>2E露</sub>	露出コンセント E付2P15A×2	新設
⊕ <sub>E</sub>	埋込コンセント E付2P15A×1 新金属プレート	新設
⊕ <sub>2E</sub>	埋込コンセント E付2P15A×2 新金属プレート	新設
⊖ <sub>2ET</sub>	埋込コンセント ET付2P15A×2	撤去
⊖ <sub>2</sub>	埋込コンセント 2P15A×2	撤去

記入なき配線は下記による  
 // VWF 1.6-2C (天井ころがし)  
 // VWF 2.0-3C (天井ころがし)  
 X は撤去を示す。  
 - - - は既設を示す。

X線室はX線用防護ボックスを使用のこと  
 壁内立下げ配線はP F管にて保護とする  
 露出コンセント立下げ配管はメタルモールとする

改修前

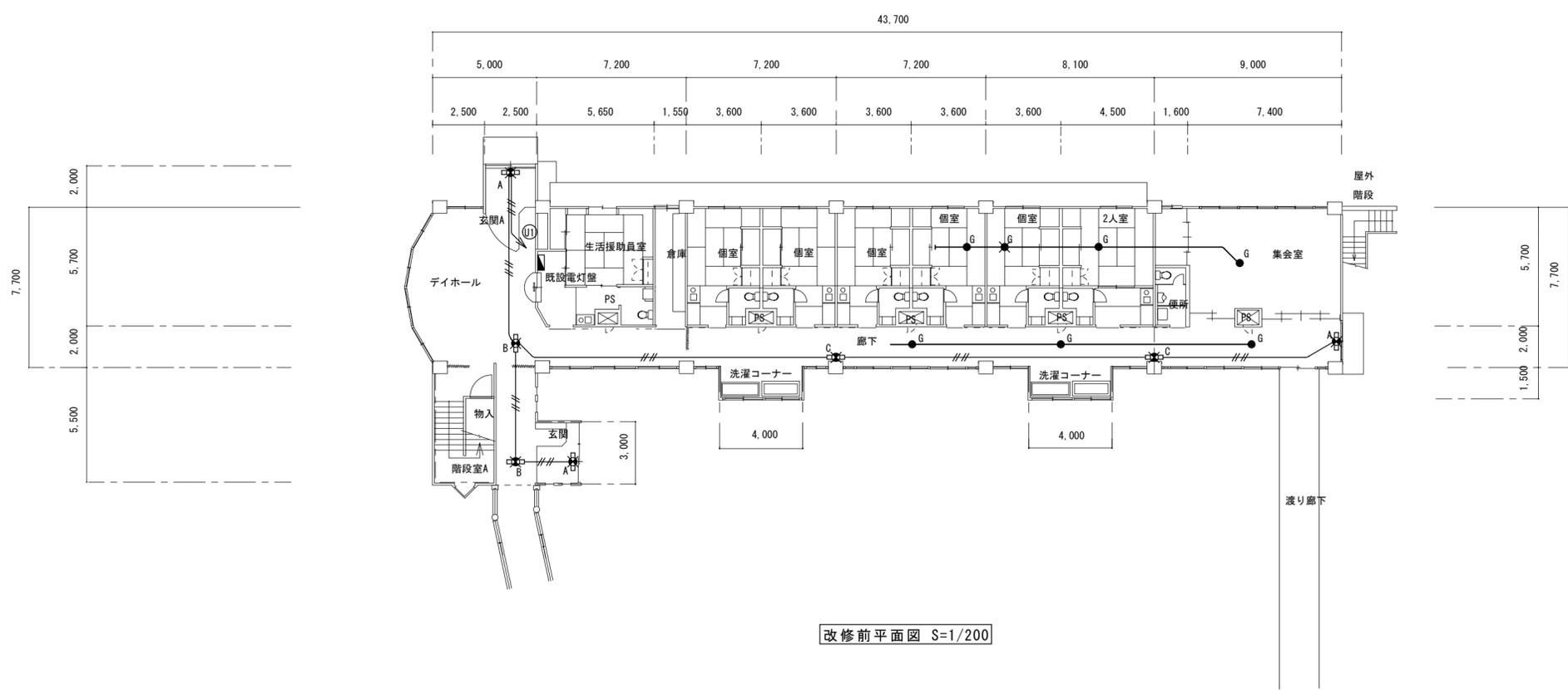
改修後



改修前電灯設備図 S=1/100

改修後電灯設備図 S=1/100

記入なき配線は下記による  
 // VWF 1.6-2C (天井ころがし)  
 // VWF 1.6-2C×2 (天井ころがし)  
 // VWF 1.6-3C (天井ころがし)  
 X は撤去を示す。  
 - - - は既設を示す。



凡例

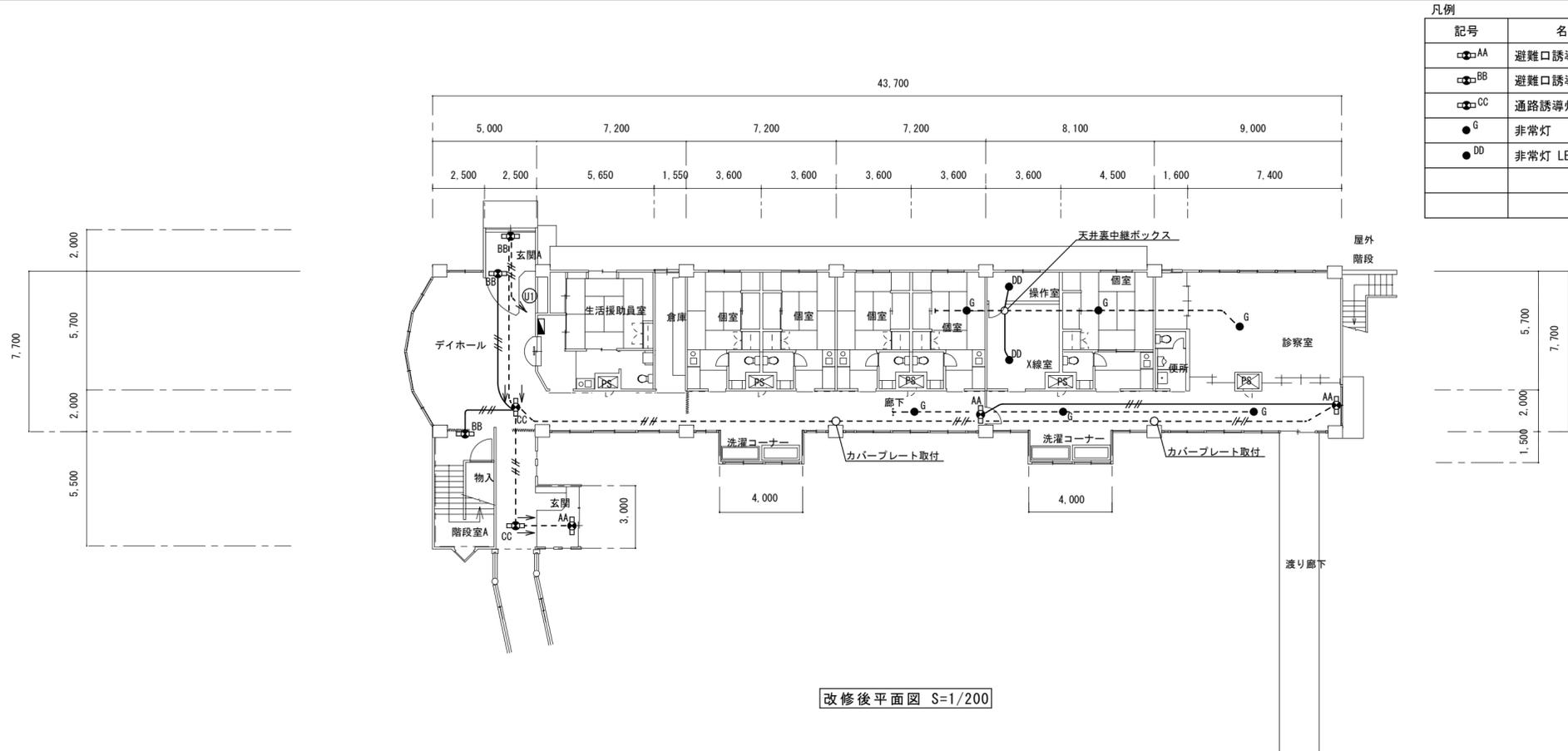
記号	名称	備考
□A	避難口誘導灯 FL20W×1	撤去
□B	避難口誘導灯 FL20W×1	撤去
□C	通路誘導灯 FL10W×1	撤去
●G	非常灯	現状維持
✱G	非常灯	撤去

記入なき配線は下記による

— VVF 1.6-2C 現状維持

/// VVF 1.6-2C×2 現状維持

改修前平面図 S=1/200



凡例

記号	名称	備考
□AA	避難口誘導灯 B級	新設
□BB	避難口誘導灯 C級	新設
□CC	通路誘導灯 C級 両面	新設
●G	非常灯	既設
●DD	非常灯 LED9W用	新設

記入なき配線は下記による

— VVF 1.6-2C

/// VVF 1.6-2C×2

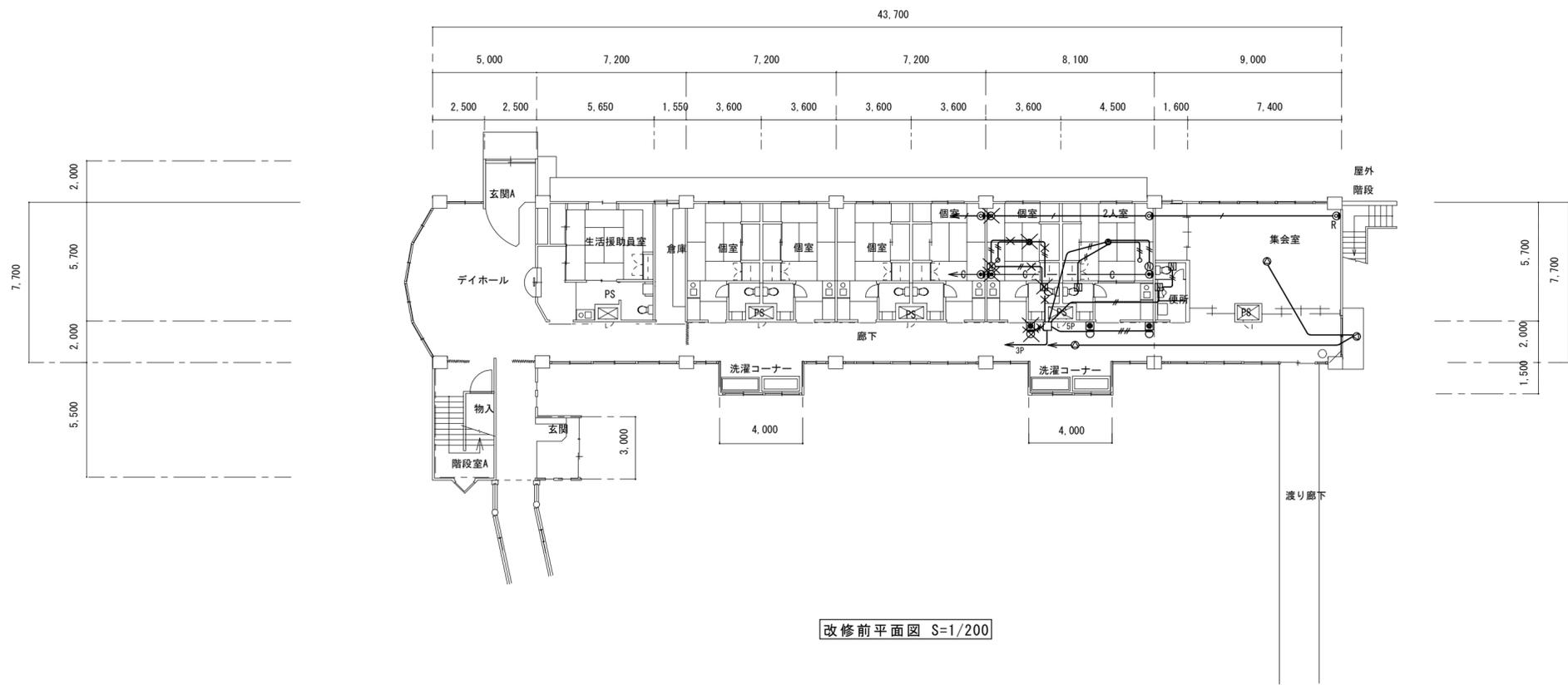
----- は既設を示す

改修後平面図 S=1/200

照明器具姿図(参考)

AA 避難口誘導灯 B級 公共型番: SH1-FBF20-BH	BB 避難口誘導灯 C級 公共型番: SH1-FBF20-C
CC 通路誘導灯 C級 両面 公共型番: ST1-FSF22-C	DD 非常灯 LED9W用 公共型番: K1-LRS11-1

保守率 0.86		
器具取付高さ	2.4m	2.6m
単体配置	A1 4.0	4.0
直線配置	A2 9.4	9.9
四角配置	A4 7.6	8.1



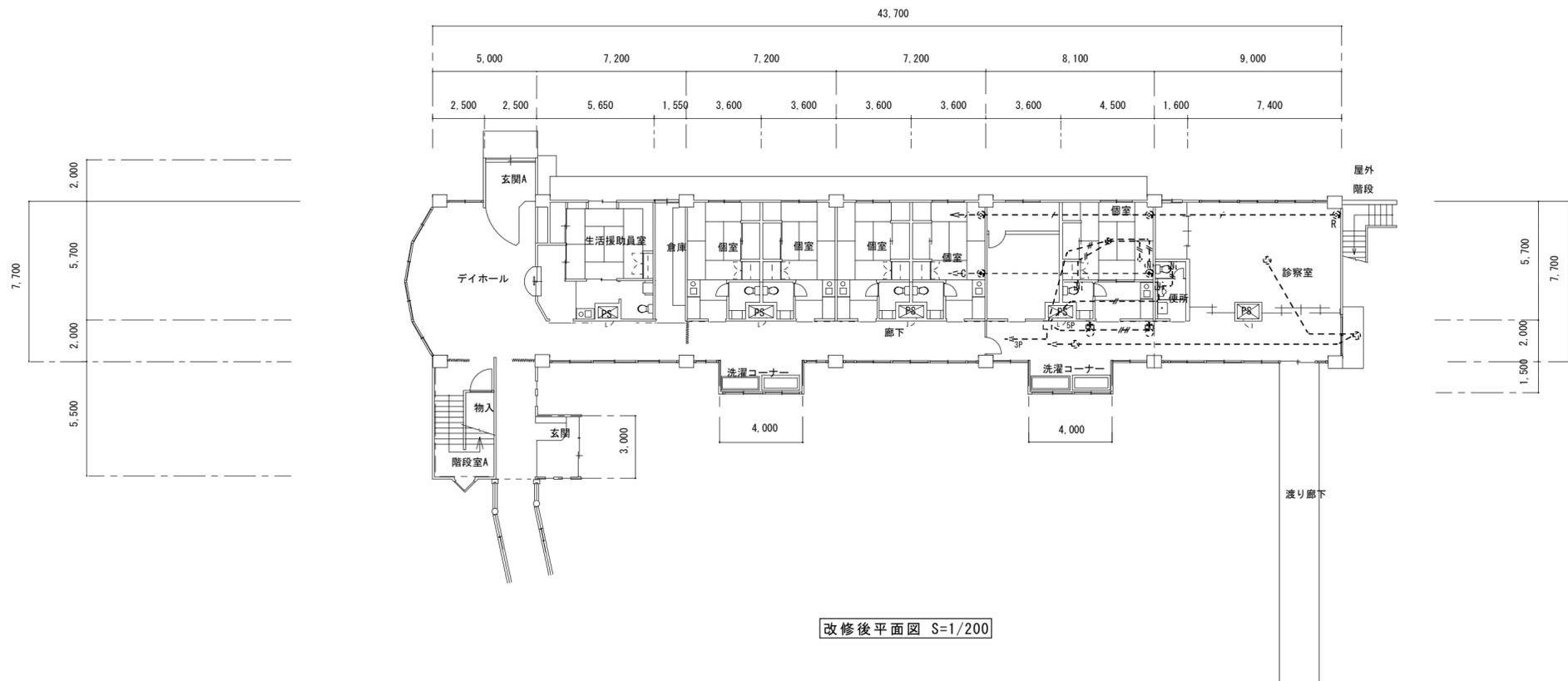
改修前平面図 S=1/200

凡例

記号	名称	備考
⊙	直列ユニット	現状維持
⊙	天井埋込スピーカ	現状維持
⊙	ナースコール用天井子機	現状維持
⊗	ナースコール用天井子機	撤去
⓪	ナースコール用押しボタン	現状維持
⊗	ナースコール用押しボタン	撤去
Ⓜ	ナースコール用復帰ボタン	現状維持
⊗	ナースコール用復帰ボタン	撤去
○	ナースコール用表示灯	現状維持
⊗	ナースコール用表示灯	撤去
⓪	電話受口	現状維持
⊗	電話受口	撤去

記入なき配線は下記による

—//—	AE 1.2-2C	現状維持
—//—	AE 1.2-4C	現状維持
⊗//—	AE 1.2-2C	撤去
⊗//—	AE 1.2-4C	撤去
—/—	5C-FB	現状維持



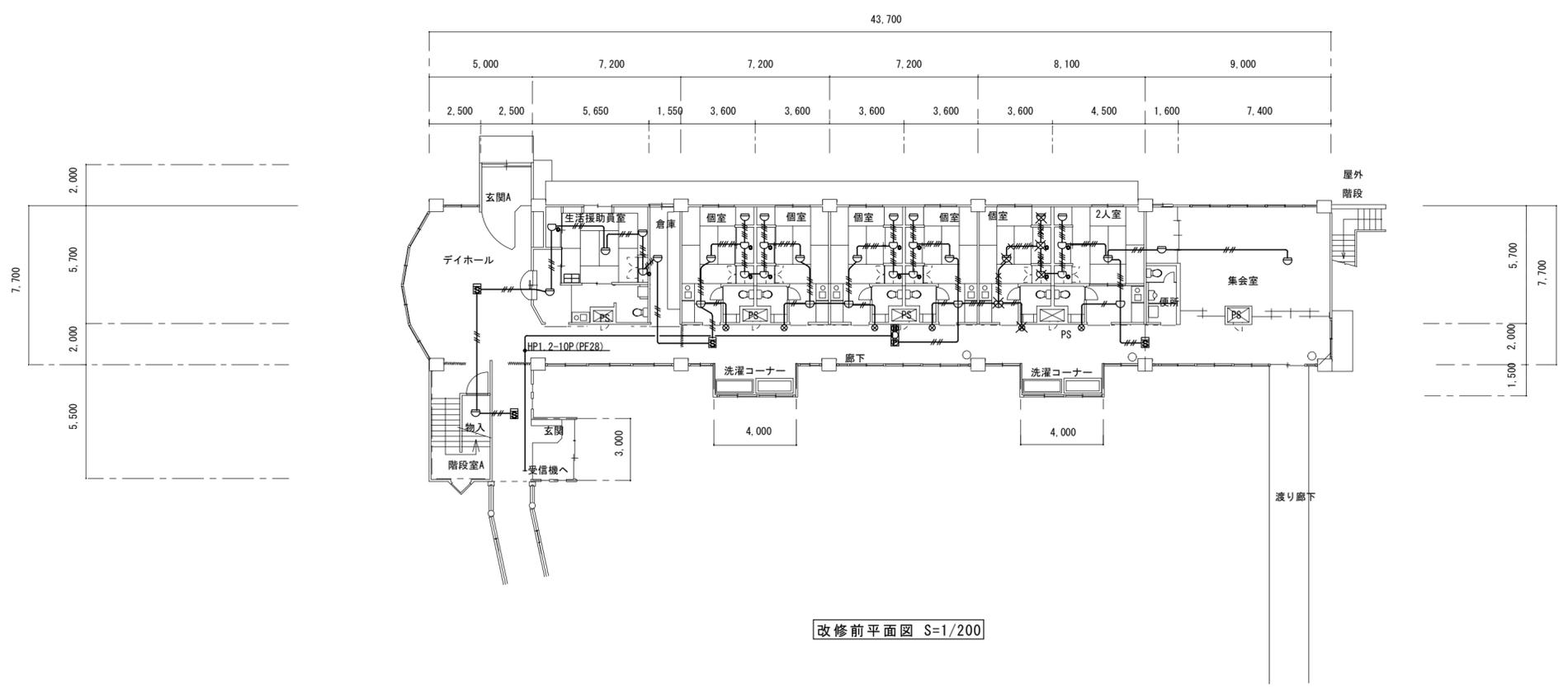
改修後平面図 S=1/200

凡例

記号	名称	備考
⊙	直列ユニット	現状維持
⊙	天井埋込スピーカ	現状維持
⊙	ナースコール用天井子機	現状維持
⓪	ナースコール用押しボタン	現状維持
Ⓜ	ナースコール用復帰ボタン	現状維持
○	ナースコール用表示灯	現状維持
⓪	電話受口	現状維持

記入なき配線は下記による

---//---	AE 1.2-2C	現状維持
---//---	AE 1.2-4C	現状維持
---/---	5C-FB	現状維持
-----	は既設を示す。	



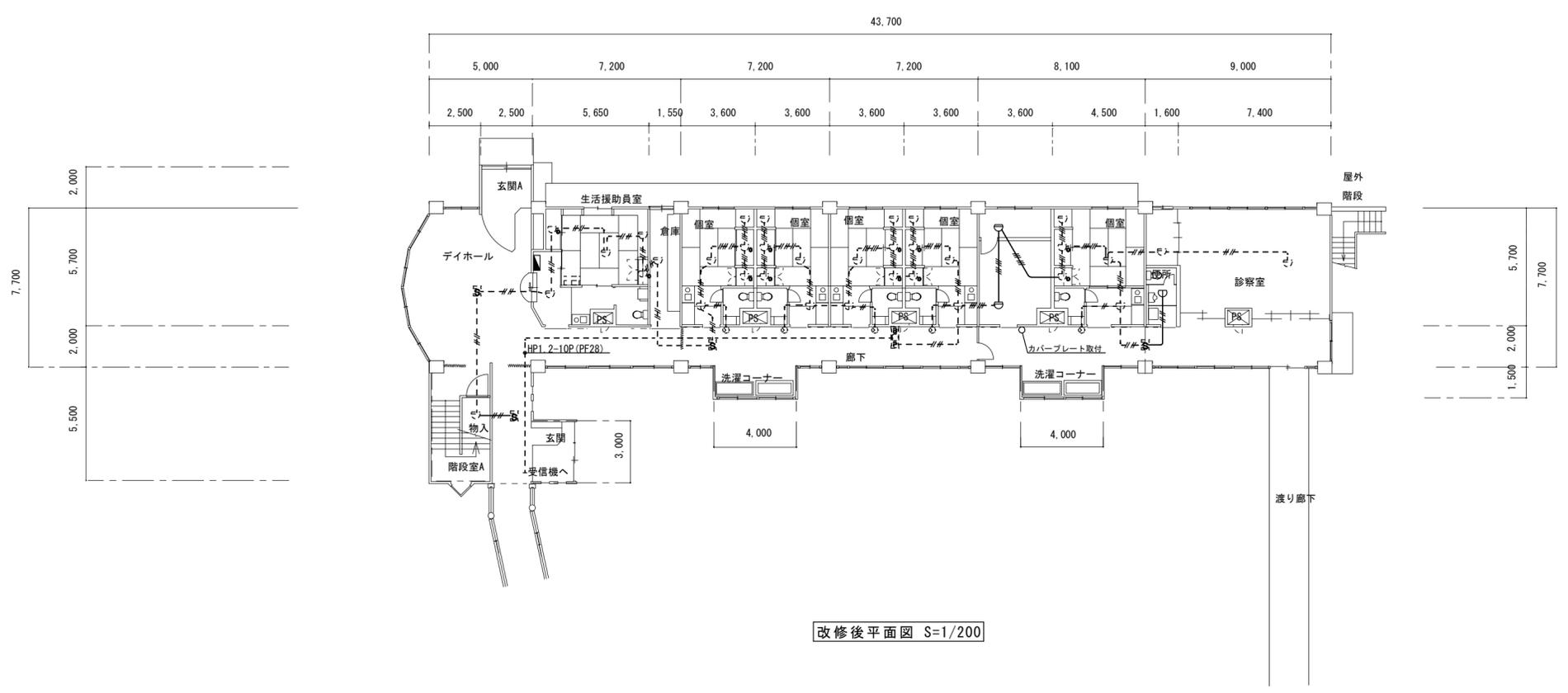
改修前平面図 S=1/200

凡例

記号	名称	備考
Ⓟ	P型1級総合盤	現状維持
⊖	差動式スポット型感知器 2種	現状維持
⊗	差動式スポット型感知器 2種	撤去
⊕	定温式スポット型感知器 1種防水	現状維持
⊗	定温式スポット型感知器 1種防水	撤去
⊖	定温式スポット型感知器 特種	現状維持
⊗	定温式スポット型感知器 特種	撤去

記入なき配線は下記による

—//—	AE 1.2-2C	現状維持
—///—	AE 1.2-4C	現状維持
⊗//—	AE 1.2-2C	撤去
⊗///—	AE 1.2-4C	撤去



改修後平面図 S=1/200

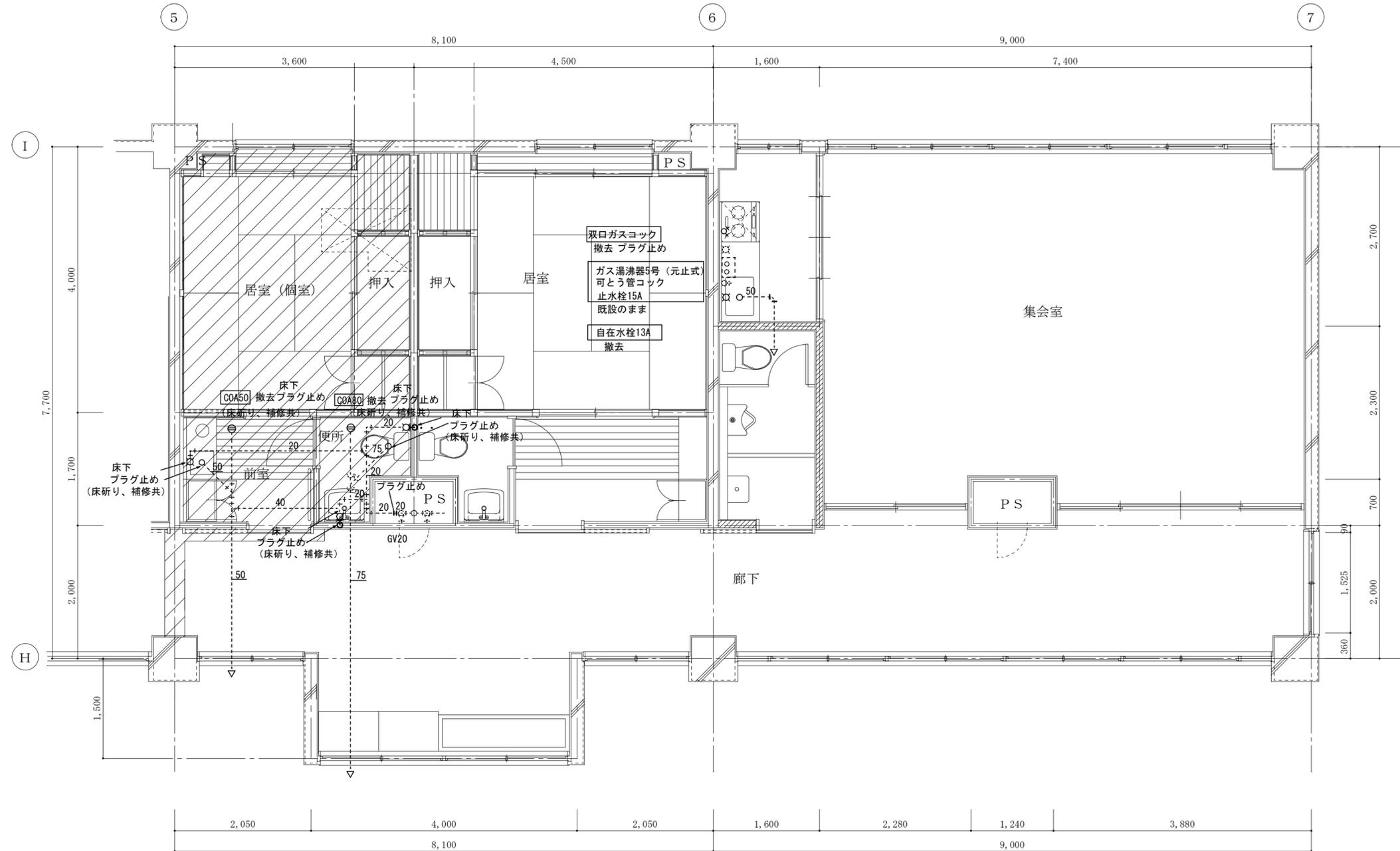
凡例

記号	名称	備考
Ⓟ	P型1級総合盤	現状維持
⊖	差動式スポット型感知器 2種	現状維持
⊖	差動式スポット型感知器 2種	新設
⊕	定温式スポット型感知器 1種防水	現状維持
⊕	定温式スポット型感知器 1種防水	新設
⊖	定温式スポット型感知器 特種	現状維持

記入なき配線は下記による

---//---	AE 1.2-2C	現状維持
---///---	AE 1.2-4C	現状維持
—//—	AE 1.2-2C	新設
—///—	AE 1.2-4C	新設



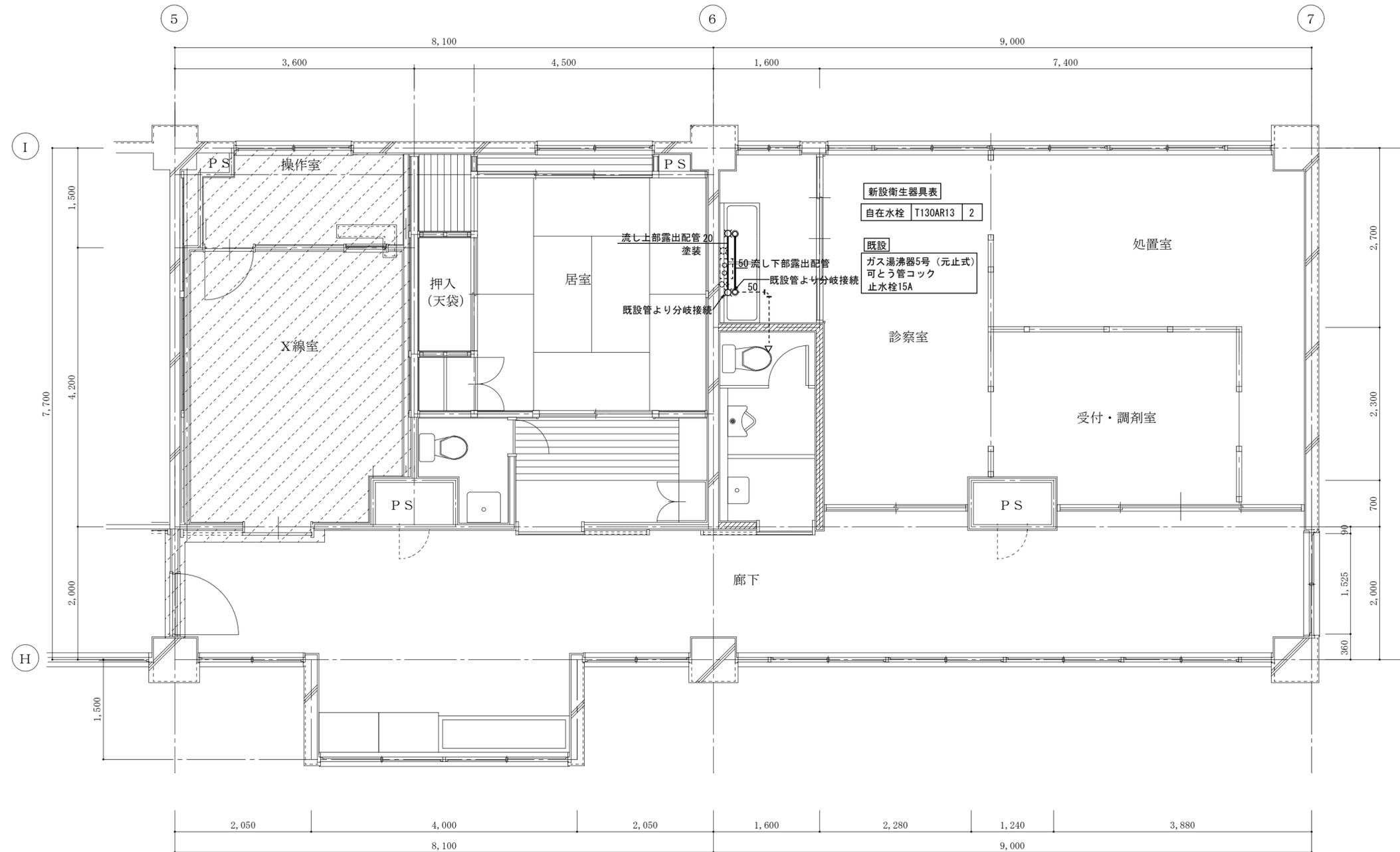


撤去衛生器具表 便所、前室			
洋風大便器	ロータンク式 洗浄暖房便座、紙巻器共	1	
洗面化粧台	化粧キャビネット共	1	
ミニキッチン	建築工事 冷蔵庫共	1	

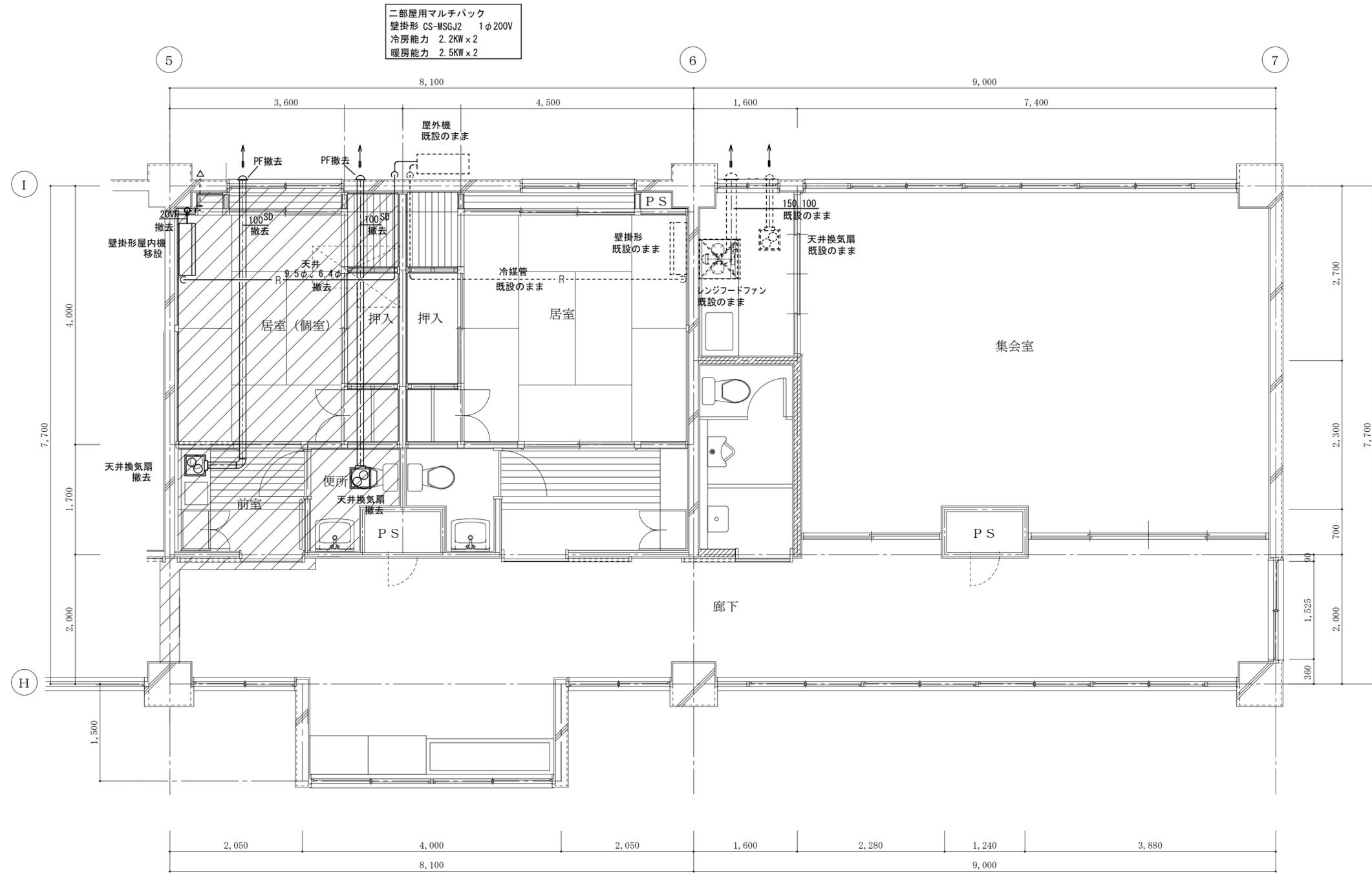
撤去衛生器具表 集会室			
流し台	L=1200	建築工事	1
ガス台	L=600 ガスコンロ共	建築工事	1

管種	管材料
給水管 (一般部)	内外塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)
給水管 (埋設部)	内外塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)
汚水、雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

改修前 給排水衛生設備平面図



改修後 給排水衛生設備平面図



改修前 空調換気設備平面図

記号	名称	備考
R	冷媒管	保温付冷媒用銅管 保温厚 ガス管 20mm 液管 10mm (但し 呼び径9.5mm以下は8mm可) 屋外配管は、SUS鋼板仕上げ
D	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP) 保温付硬質塩化ビニル管 (VP) 屋内露出配管は、樹脂製保温化粧ケース仕上げ

空調設備機器表 形式-空冷式ヒートポンプ (EHP)

記号	形式・品名	仕様・能力	電源	設置場所	台
RAC 1	壁掛形エアコン 参考型番 MSZ-GV2816	冷房能力 3.6kW(定格) 暖房能力 4.2kW(定格)	1φ100V	X線室	1
		COMP 950W FAN 内 28W 外 50W 消費電力 冷房 1380W 暖房 1235W 低温暖房 1420W ワイヤレスリモコン (ホルダー共)、防振パット、他一式共 屋外機基礎-タイガーベース			

特記事項  
 1. 冷暖房能力はJISの条件による。  
 2. グリーン購入法対応品とする。  
 3. 圧縮機、ファン、消費電力は参考とする。  
 4. 屋外機は壁面よりSUS材にて転倒防止を設置の事。

換気機器表

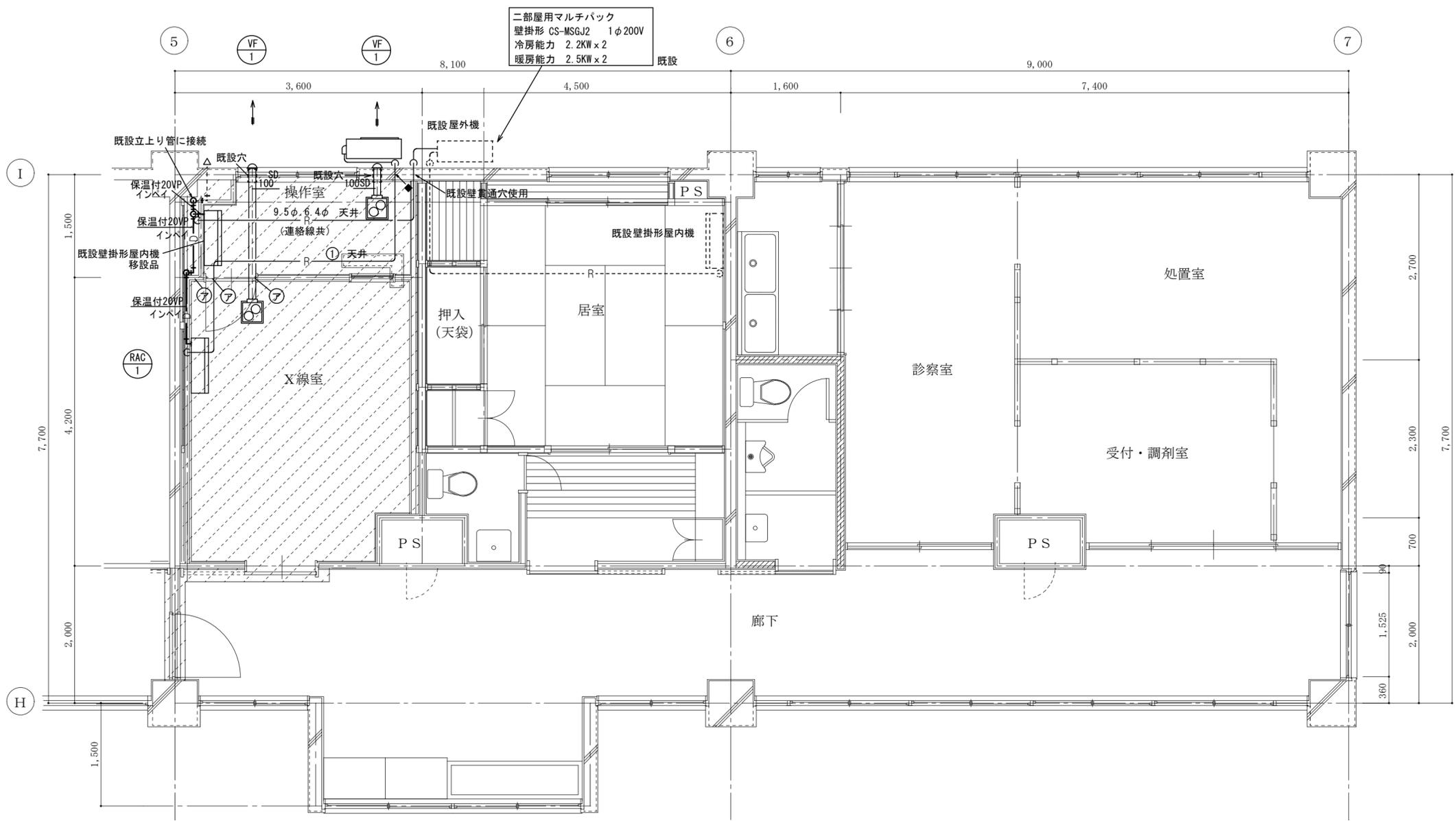
機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量	台数	設置場所・備考
			電源 (V)		
VF 1	天井換気扇 VD-15ZX10-C	形式 低騒音形インテリア格子グリル	1φ100	2	操作室 X線室
		風量 100 m <sup>3</sup> /h x 50 Pa	14.0		
付属品		SUS深形フード (ガラリ付)、他一式共			

特記事項  
 1. 天井換気扇は、天吊り金具を付属品とする。  
 2. 天井換気扇は、振れ止め耐震対策を施すこと。

冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	渡り配線
①	9.5φ	6.4φ	VVF2.0-3C

- 凡例
- ◆ コア-抜き、補修
  - ⑦-X線室壁貫通部鉛板厚さ2.0mm以上にて補修 (天井部分は、建築工事にて鉛板補修)



改修後 空調換気設備平面図